

三種町みらい創造プラン 令和3年度事業検証シート

審議会検証結果



## 令和3年度事業 三種町みらい創造プラン 事業検証シート

1. 基本事項	事業番号	4	担当課名	企画政策課
計画種別	みらい創造プラン ・ 国土強靱化 ・ 行革推進計画 ・ 過疎地域持続的発展計画 男女共同参画推進計画 ・ 地域再生計画(企業版ふるさと納税)			
基本政策	若者の定住促進と賑わいのあるまち	重点戦略	若者が定住し賑わう戦略	
主要施策	若者の定住とふるさと回帰促進	重点施策	若者の活躍と定住促進	
施策項目	定住・移住対策の推進	重点項目	定住・移住対策の推進	

### 2. 概要

名称	住宅取得支援補助金交付事業
Plan 目的	人口減少対策として、若者世代及び子育て世帯の定住・移住を図る。
Plan 内容	三種町内に住宅を取得する若者世代及び子育て世代に対して、補助金を交付する。 ・対象:年齢が50歳未満(夫婦の場合はどちらか一方で可)または18歳以下の子を養育している方 ・補助額:新築住宅上限100万円・町内事業者加算20万円。中古住宅上限50万円(補助率1/2)

### 3. 実績

Do 取組状況	新築住宅21件(内町内業者利用9件)、中古住宅3件の実績があった。
Check・Action 成果・課題等	想定した程度の利用があり、若者世代・子育て世代の定住が図られた。

### 4. 重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値	実績値		評価
			途中経過	最終値	
住宅取得助成数	新規	25件		24件	B

※評価欄は、A:目標値以上、B:目標値と同等、C:目標値未満、D:進捗なし から選んで入力

### 5. コスト

経費	24,300,000 円	うち一般財源	円
		うち特定財源	24,300,000 円

6. 効果（担当課の評価）

	評価項目	評価区分	評価	評価の理由
一次評価（担当課）	妥当性 ・住民のニーズが高いか ・受益者負担は適当か ・町が関与すべき事業か ・目的・対象は妥当か	a: 効果が高い	b	町内に住宅を取得したい方への後押しとなっている。
	将来性 ・課題解決にとどまらず将来性があるか	b: 効果がやや高い C: 相当程度の効果	b	住宅の取得により、定住へつながっている。
	効率性 ・コスト削減や効率的な手法が他にないか ・費用対効果はどうか	d: 効果がやや低い	c	補助金額・町内業者加算について適正な額を検討していく必要がある。
	有効性 ・目的の実現に効果的か ・成果が期待できるか	e: 効果がない	a	住宅を取得することで、高い確率での定住につながっている。
	総合評価 ・継続すべきか ・改善が必要ではないか ・廃止すべきではないか	A: このまま継続 B: 改善して継続 C: 廃止または中止	A	補助金額・町内業者加算について適正な額を検討していく必要がある。

: \* \* \* \* \* : \*\* 以下担当者入力不要 \*\* \* \* \* \* \*

7. 評価（審査会の評価）

	判定区分	意見
事業効果・評価	<input type="checkbox"/> (A)非常に効果的であった <input checked="" type="checkbox"/> (B)やや効果的であった <input type="checkbox"/> (C)相当程度効果があった <input type="checkbox"/> (D)効果がほとんどなかった <input type="checkbox"/> (E)効果がなかった	移住定住を考えるきっかけとなり、町内事業者への申請もあったため効果はあったものとする。
今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> (A)さらに発展させるべき(拡大) <input type="checkbox"/> (B)効果があるので継続 <input type="checkbox"/> (C)内容の見直しが必要(改善) <input type="checkbox"/> (D)効果が見込めないため廃止	町内事業者と町外事業者での補助額差が20万円なら町外の大手ハウスメーカーが選ばれる可能性が高い。加算額を見直しつつ事業を継続してほしい。

全体評価・コメント

町内外事業者の加算額の見直しが必要ではあるが、町内の定住につながる事業であるため継続してほしい。

8. 議会の評価・コメント

## 令和3年度事業 三種町みらい創造プラン 事業検証シート

1. 基本事項	事業番号	6	担当課名	教育委員会
計画種別	〇みらい創造プラン〇・国土強靱化・行革推進計画・過疎地域持続的発展計画 男女共同参画推進計画・地域再生計画(企業版ふるさと納税)			
基本政策	若者の定住促進と賑わいのあるまち	重点戦略	若者が定住し賑わう戦略	
主要施策	若者の定住とふるさと回帰促進	重点施策	若者の活躍と定住促進	
施策項目	就業・起業等の支援	重点項目	就業・起業等の支援	

### 2. 概要

名称	奨学金返還助成事業
Plan 目的	若者の定住促進と就業支援を目的として、町内に居住し、奨学金を返還しながら県内企業に勤めるに者に対し、返還金の一部を助成する。
Plan 内容	町ホームページや秋田県就活情報サイトへのリンク貼付等で情報発信を行い、一定の要件を満たした申請者に対し、年返還額の1/3(上限:年額10万円)を最大5年間助成する。

### 3. 実績

Do 取組状況	【奨学金返還助成制度申請者】 →4名(うち令和3年度新規申請者:0名) 助成額:計265,000円
Check・Action 成果・課題等	奨学金の返還助成を行うことにより、若者が安心してふるさとへ定住するための支援へとつながった。ふるさと回帰促進のため、さらに効果的な情報発信が必要と考える。

### 4. 重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値	実績値		評価
			途中経過	最終値	
奨学金返還助成制度申請者数	4名	6名		4名	C

※評価欄は、A:目標値以上、B:目標値と同等、C:目標値未満、D:進捗なし から選んで入力

### 5. コスト

経費	265,000	円	うち一般財源	265,000	円
			うち特定財源		円

6. 効果（担当課の評価）

	評価項目	評価区分	評価	評価の理由
一次評価（担当課）	妥当性 ・住民のニーズが高いか ・受益者負担は適当か ・町が関与すべき事業か ・目的・対象は妥当か	a:効果が高い b:効果がやや高い c:相当程度の効果 d:効果がやや低い e:効果がない	a	若者の定住促進につながった。
	将来性 ・課題解決にとどまらず将来性があるか		a	ふるさと回帰を支援することで、将来的に若者が賑わうまちづくりが期待できる。
	効率性 ・コスト削減や効率的な手法が他にないか ・費用対効果はどうか		b	若者の定住促進につながるため費用対効果は大きい。
	有効性 ・目的の実現に効果的か ・成果が期待できるか		a	若者の定住促進の実現に効果的である。
	総合評価 ・継続すべきか ・改善が必要ではないか ・廃止すべきではないか		A:このまま継続 B:改善して継続 C:廃止または中止	A

:\*\*\*\*\*: \*\* 以下担当者入力不要 \*\* \*\*\*\*\*

7. 評価（審査会の評価）

	判定区分	意見
事業効果・評価	<input checked="" type="checkbox"/> (A)非常に効果的であった <input type="checkbox"/> (B)やや効果的であった <input type="checkbox"/> (C)相当程度効果があった <input type="checkbox"/> (D)効果がほとんどなかった <input type="checkbox"/> (E)効果がなかった	<p>この事業はよいと思うが、位置づけが若者の定住に効果的なのか考える必要がある。</p> <p>若い人たちには自由に学んでもらった上で、この町を選んでもらうことに意義がある。お金を出してあげるから町に残って、という間違ったメッセージになってもらいたくない。</p>
今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> (A)さらに発展させるべき(拡大) <input type="checkbox"/> (B)効果があるので継続 <input type="checkbox"/> (C)内容の見直しが必要(改善) <input type="checkbox"/> (D)効果が見込めないため廃止	<p>利用者数をみると制度を知らない人が多いと思われる。他市町村からの転入も対象ということなので、若者の将来性を縛らないように配慮した上で周知し、利用者の声を聞くことも必要では。</p>

全体評価・コメント

みらい創造プランでの位置づけが「若者の定住促進」となっているが、定住促進は金で縛ることでなく、起業しやすい環境を整えるなど、三種町に来たいと思える環境づくりが大事なのではないか。項目の設置場所が定住促進なのか教育環境の充実なのか再考を。

8. 議会の評価・コメント

## 令和3年度事業 三種町みらい創造プラン 事業検証シート

1. 基本事項	事業番号	8	担当課名	企画政策課
計画種別	みらい創造プラン ・ 国土強靱化 ・ 行革推進計画 ・ 過疎地域持続的発展計画 男女共同参画推進計画 ・ 地域再生計画(企業版ふるさと納税)			
基本政策	若者の定住促進と賑わいのあるまち	重点戦略	若者が定住し賑わう戦略	
主要施策	若者の定住とふるさと回帰促進	重点施策	若者の活躍と定住促進	
施策項目	結婚支援の充実	重点項目	結婚支援の充実	

### 2. 概要

名称	結婚祝金交付事業
Plan 目的	三種町に居住する夫婦の結婚を祝福するとともに、若者の定住を促進し、三種町の活性化を図る。
Plan 内容	婚姻届提出後、2か月以内に夫婦ともに三種町に居住する夫婦(どちらか一方の年齢が49歳以下)に対して10万円を交付する。

### 3. 実績

Do 取組状況	18組に交付
Check・Action 成果・課題等	補助金額が適正かについて検討が必要

### 4. 重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値	実績値		評価
			途中経過	最終値	
交付件数	10組	15組		18組	A

※評価欄は、A:目標値以上、B:目標値と同等、C:目標値未満、D:進捗なし から選んで入力

### 5. コスト

経費	1,800,000	円	うち一般財源	1,800,000	円
			うち特定財源		円

6. 効果（担当課の評価）

	評価項目	評価区分	評価	評価の理由
一次評価（担当課）	妥当性 ・住民のニーズが高いか ・受益者負担は適当か ・町が関与すべき事業か ・目的・対象は妥当か	a:効果が高い	b	定住の促進となっている
	将来性 ・課題解決にとどまらず将来性があるか	b:効果がやや高い C:相当程度の効果	b	定住の促進となっている
	効率性 ・コスト削減や効率的な手法が他にないか ・費用対効果はどうか	d:効果がやや低い	b	交付金額が適正か
	有効性 ・目的の実現に効果的か ・成果が期待できるか	e:効果がない	a	結婚を機に町内在住している。
	総合評価 ・継続すべきか ・改善が必要ではないか ・廃止すべきではないか	A:このまま継続 B:改善して継続 C:廃止または中止	A	定住促進を目的とした結婚支援事業として継続

:\*\*\*\*\*: \*\* 以下担当者入力不要 \*\* \*\*\*\*\*

7. 評価（審査会の評価）

	判定区分	意見
事業効果・評価	<input type="checkbox"/> (A)非常に効果的であった <input type="checkbox"/> (B)やや効果的であった <input checked="" type="checkbox"/> (C)相当程度効果があった <input type="checkbox"/> (D)効果がほとんどなかった <input type="checkbox"/> (E)効果がなかった	10万円の補助金が理由で三種町の居住を決める夫婦は少ないが、元から三種町に居住する予定の夫婦に対する支援という意味では効果的。
今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> (A)さらに発展させるべき(拡大) <input type="checkbox"/> (B)効果があるので継続 <input type="checkbox"/> (C)内容の見直しが必要(改善) <input type="checkbox"/> (D)効果が見込めないため廃止	周知とフォローアップに力を入れていくべき。

全体評価・コメント

三種町で結婚した夫婦に対する支援として効果的。交付後もフォローアップを実行し、夫婦に喜ばれる事業にした方がよい。また町内外で当事業を認知していない夫婦に向けてさらなる周知が必要。

8. 議会の評価・コメント

## 令和3年度事業 三種町みらい創造プラン 事業検証シート

1. 基本事項	事業番号	16	担当課名	商工観光交流課
計画種別	みらい創造プラン ・ 国土強靱化 ・ 行革推進計画 ・ 過疎地域持続的発展計画 男女共同参画推進計画 ・ 地域再生計画(企業版ふるさと納税)			
基本政策	若者の定住促進と賑わいのあるまち	重点戦略	若者が定住し賑わう戦略	
主要施策	観光資源の充実と交流人口の拡大	重点施策	交流人口拡大と賑わいの創出	
施策項目	観光資源の整備充実	重点項目	観光資源の整備充実	

### 2. 概要

名称	森岳温泉活街性化事業
Plan 目的	森岳温泉街の活性化を図る。
Plan 内容	①森岳温泉街全体のハード事業に係る全体計画の設計、②森岳温泉街で新たに出店し誘客活動をしようとする個人及び事業者等を支援し、地域の活性化と経済波及効果により交流人口の拡大を図るため、対象となる経費に対し補助を行う。

### 3. 実績

Do 取組状況	今年度、森岳温泉街活性化事業計画が検討委員会から示され、①温泉周辺地区の再整備(ハード事業)、②温泉街への誘客(ソフト事業)、③温泉地としての新たな魅力(ソフト事業)を柱にして、令和4年度より実行して行く。また、森岳温泉街店舗開業支援事業補助金を活用しての開業件数は、1件となっている。
Check・Action 成果・課題等	森岳温泉街の活性化を図るには、地元の意見をまとめる組合等の団体を構築させることが急務となっている。この組合等が構築されることにより、様々な協議ができ、計画を進める上で重要なポジションとなる。町でも組合等の構築を支援して行きたい。

### 4. 重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値	実績値		評価
			途中経過	最終値	
5年後の森岳温泉郷入込客数(単年)	109,927人(R2)	110,000人		124,127人	A
5年後の森岳温泉街店舗開業件数(単年)	2件(R2より)	2件		1件	C
※評価欄は、A:目標値以上、B:目標値と同等、C:目標値未満、D:進捗なし から選んで入力					

### 5. コスト

経費	2,780,000 円	うち一般財源	80,000 円
		うち特定財源	2,700,000 円

6. 効果（担当課の評価）

	評価項目	評価区分	評価	評価の理由
一次評価（担当課）	妥当性 ・住民のニーズが高いか ・受益者負担は適当か ・町が関与すべき事業か ・目的・対象は妥当か	a:効果が高い	a	森岳温泉街活性化を図っていく意味でも目的・対象からも妥当である。
	将来性 ・課題解決にとどまらず将来性があるか	b:効果がやや高い C:相当程度の効果	a	地元の意見をまとめる任意団体が令和4年度に立ち上げられるため、今後は様々な対策が提案され、活性化につながる。
	効率性 ・コスト削減や効率的な手法が他にないか ・費用対効果はどうか	d:効果がやや低い	a	温泉街に店舗が開業されており費用対効果は高い。
	有効性 ・目的の実現に効果的か ・成果が期待できるか	e:効果がない	a	令和2年度から温泉街に毎年店舗が開業されており、効果が高い。
	総合評価 ・継続すべきか ・改善が必要ではないか ・廃止すべきではないか	A:このまま継続 B:改善して継続 C:廃止または中止	A	地元の意見をまとめる任意団体が令和4年度に立ち上げられるため、今後は様々な対策が提案され、活性化につながることから、継続すべきである。

:\*\*\*\*\*: \*\* 以下担当者入力不要 \*\* \*\*\*\*\*

7. 評価（審査会の評価）

	判定区分	意見
事業効果・評価	<input checked="" type="checkbox"/> (A)非常に効果的であった <input type="checkbox"/> (B)やや効果的であった <input type="checkbox"/> (C)相当程度効果があった <input type="checkbox"/> (D)効果がほとんどなかった <input type="checkbox"/> (E)効果がなかった	森岳温泉の目指す姿を示されていないので、令和4年度に立ち上がった地元組織を活用しながら良い方向へ進めて欲しい。SNSの効果はそれなりに高い。
今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> (A)さらに発展させるべき(拡大) <input type="checkbox"/> (B)効果があるので継続 <input type="checkbox"/> (C)内容の見直しが必要(改善) <input type="checkbox"/> (D)効果が見込めないため廃止	森岳温泉独自の特徴を持たせる取組が必要。補助金がなくともリピートしたくなる受入側(ホテル)の意欲も必要。周年農業への温泉活用など温泉の利活用の検討が必要。

全体評価・コメント

期待値が高い事業なので、民間活力を大事にしながら連携し、さらに事業を発展させてください。

8. 議会の評価・コメント

# 令和3年度事業 三種町みらい創造プラン 事業検証シート

1. 基本事項	事業番号	18	担当課名	商工観光交流課
計画種別	みらい創造プラン ・ 国土強靱化 ・ 行革推進計画 ・ 過疎地域持続的発展計画 男女共同参画推進計画 ・ 地域再生計画(企業版ふるさと納税)			
基本政策	若者の定住促進と賑わいのあるまち	重点戦略	若者が定住し賑わう戦略	
主要施策	観光資源の充実と交流人口の拡大	重点施策	交流人口拡大と賑わいの創出	
施策項目	交流人口の拡大	重点項目	交流人口の拡大	

## 2. 概要

名称	観光PR事業(特産品PR事業を含む)
Plan 目的	町の魅力ある観光資源を国内外にPR。また、特産品を県内外へメディアを使いPR。
Plan 内容	観光資源については、①台湾トップセールス参加により国外に町の魅力をPR(南投縣との交流)、②首都圏等で特産品をPR、③各種イベントへの協賛や特産品でのPR(ダイワキスマスターズ・JRイベント・各スポーツ大会等)、④NPO法人観光協会等との観光事業の連携、⑤あきたふるさと手作りCM大賞やその他観光事業へ参加する。特産品については、①秋田朝日放送系列での広報(TV)、②秋田放送での広報(TV)、③ABSラジオでの広報活動を行いPRする。

## 3. 実績

Do 取組状況	観光資源については、今年度も①台湾トップセールス、②首都圏等で特産品PR、③各種イベントへの協賛や特産品でのPR(ダイワキスマスターズ・JRイベント・各スポーツ大会等)が、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として中止となり、参加することが出来なかった。NPO法人観光協会等との観光事業の連携では、房住山登山山開き等を開催。あきたふるさと手作りCM大賞では、ベストパートナー賞を受賞した。特産品については、県内向けTV及びラジオ、県外向け(宮城県)TVでPRするとともに、じゅんさいが旬な時期に番組で特集するなどの活動を行い、じゅんさい関連商品やECサイト「三種町ずらり」での売り上げ件数が向上した。
Check・Action 成果・課題等	観光資源については、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策で2年に渡って各種観光PRに参加できていないため、感染症対策をしっかりと講じて令和4年度は開催していただきたい。特産品については、ECサイト「三種町ずらり」売上件数に貢献できた。しかし、県外向け(宮城県)TVでPRしたが、どのくらい効果があるか検証し、継続の有無を判断する必要がある。

## 4. 重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値	実績値		評価
			途中経過	最終値	
5年後のサンドクラブ入込客数(単年)	コロナ対策で中止(R2) 34,000人(R1)	35,000人		0人	C
5年後の森岳温泉夏まつり入込客数(単年)	コロナ対策で中止(R2) 11,000人(R1)	12,000人		0人	C
5年後の道の駅「ことおか」まつり入込客数(単年)	台風(R1)・コロナ対策で中止(R2) 1,000人(H30)	1,000人		0人	C
5年後の房住山登山山開き参加人数(単年)	コロナ対策で中止(R2) 86人(R1)	100人		27人	C
5年後のECサイト「三種町ずらり」売上件数(単年)	220件(R2, 12より)	250件		256件	A

※評価欄は、A:目標値以上、B:目標値と同等、C:目標値未満、D:進捗なし から選んで入力

5. コスト

経費	3,896,750 円	うち一般財源	261,380 円
		うち特定財源	3,635,370 円

6. 効果（担当課の評価）

評価項目		評価区分	評価	評価の理由
一次評価（担当課）	妥当性 ・住民のニーズが高いか ・受益者負担は適当か ・町が関与すべき事業か ・目的・対象は妥当か	a: 効果が高い b: 効果がやや高い c: 相当程度の効果 d: 効果がやや低い e: 効果がない	a	観光資源については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各種イベント・特産品販売は中止されたが、それ以外は通常に観光資源をPRおり、目的・対象からも妥当である。特産品については、県内外の方に購入されており目的・対象からも妥当である。
	将来性 ・課題解決にとどまらず将来性があるか		a	観光資源については、アフターコロナを見据えて、今まで通り観光資源をPRしていく。特産品については、じゅんさいが旬な時期に番組特集を放映するなど、観光資源としてPRしている。
	効率性 ・コスト削減や効率的な手法が他にないか ・費用対効果はどうか		b	観光資源については、沢山の方々から利用されており、観光資源としての費用対効果は高い。特産品については、県外向け（宮城県）TVでPRしたが、どのくらいの費用対効果があるか疑問であり、継続の有無を検討する。
	有効性 ・目的の実現に効果的か ・成果が期待できるか		a	観光資源については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各種イベント・特産品販売は中止されたが、それ以外は通常に観光資源をPRおり、交流人口の成果が期待できると共に、効果が高い。特産品については、令和2年12月より観光協会のECサイトでを開始しており、効果が高い。
	総合評価 ・継続すべきか ・改善が必要ではないか ・廃止すべきではないか		A	毎年、国内外で観光資源をPRしており、交流人口につながっているため、継続すべきである。特産品については、令和2年12月より観光協会のECサイト「三種町ずらり」でを開始しているとともに、効果的なCM制作を委託し販売強化をしているため、継続すべきである。

:\*\*\*\*\*: \*\* 以下担当者入力不要 \*\* \*\*\*\*\*

7. 評価（審査会の評価）

	判定区分	意見
事業効果・評価	<input checked="" type="checkbox"/> (A)非常に効果的であった <input type="checkbox"/> (B)やや効果的であった <input type="checkbox"/> (C)相当程度効果があつた <input type="checkbox"/> (D)効果がほとんどなかつた <input type="checkbox"/> (E)効果がなかつた	コロナ禍で中止になっているが、イベント等は非常に良くやっている。町内スポーツ大会でも特産品を提供し、町内外にPR活動をしている。
今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> (A)さらに発展させるべき(拡大) <input type="checkbox"/> (B)効果があるので継続 <input type="checkbox"/> (C)内容の見直しが必要(改善) <input type="checkbox"/> (D)効果が見込めないため廃止	県外PR事業も効果が認められているので、今後もPRを継続する。

全体評価・コメント

コロナ禍で活動は限定的だったが、今後もPRは継続する必要がある。

8. 議会の評価・コメント

--

## 令和3年度事業 三種町みらい創造プラン 事業検証シート

1. 基本事項	事業番号	19	担当課名	商工観光交流課
計画種別	未来創造プラン ・ 国土強靱化 ・ 行革推進計画 ・ 過疎地域持続的発展計画 男女共同参画推進計画 ・ 地域再生計画(企業版ふるさと納税)			
基本政策	若者の定住促進と賑わいのあるまち	重点戦略	若者が定住し賑わう戦略	
主要施策	観光資源の充実と交流人口の拡大	重点施策	交流人口拡大と賑わいの創出	
施策項目	交流人口の拡大	重点項目	交流人口の拡大	

### 2. 概要

名称	地域活性化イベント事業
Plan 目的	観光資源イベントの支援を行うことで、町の知名度及び誘客力を増大させ、観光客及び交流人口の増加による地域経済の向上と交流からの新たな雇用の創出を図る。
Plan 内容	①サンドクラフト2021 in みたね、②森岳温泉夏まつり、③道の駅「ことおか」秋まつりを開催する。

### 3. 実績

Do 取組状況	サンドクラフト2021 in みたね は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため砂像展示のみとした。また、今年度で25周年を迎えたことから、これを記念して取り入れた「竹あかり」は大好評であった。しかし、森岳温泉夏まつり、道の駅「ことおか」秋まつりは、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、残念ながら開催中止となった。
Check・Action 成果・課題等	今年度はコロナウイルス感染症拡大防止対策により、サンドクラフトの砂像展示のみとなった。今後は感染症対策を十分講じることが重要課題となり、また、イベント内容も検討していく必要がある。

### 4. 重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値	実績値		評価
			途中経過	最終値	
5年後のサンドクラフト入込客数(単年)	コロナ対策で中止(R2) 34,000人(R1)	35,000人		0人	C
5年後の森岳温泉夏まつり入込客数(単年)	コロナ対策で中止(R2) 11,000人(R1)	12,000人		0人	C
5年後の道の駅「ことおか」まつり入込客数(単年)	台風(R1)・コロナ対策で中止(R2) 1,000人(H30)	1,000人		0人	C

※評価欄は、A:目標値以上、B:目標値と同等、C:目標値未満、D:進捗なし から選んで入力

### 5. コスト

経費	15,367,116 円	うち一般財源	15,367,116 円
		うち特定財源	0 円

6. 効果（担当課の評価）

	評価項目	評価区分	評価	評価の理由
一次評価（担当課）	妥当性 ・住民のニーズが高いか ・受益者負担は適当か ・町が関与すべき事業か ・目的・対象は妥当か	a:効果が高い	a	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各種イベントは中止されたが、観光資源をPRする効果的なものであるため、目的・対象からも妥当である。
	将来性 ・課題解決にとどまらず将来性があるか	b:効果がやや高い	a	アフターコロナを見据えて、今まで通り観光資源をPRしていく。
	効率性 ・コスト削減や効率的な手法が他にないか ・費用対効果はどうか	C:相当程度の効果 d:効果がやや低い	a	沢山の方々が来場されており、観光資源PRとしての費用対効果は高い。
	有効性 ・目的の実現に効果的か ・成果が期待できるか	e:効果がない	a	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各種イベントは中止されたが、観光資源をPRする効果的なものであり、交流人口の成果が期待できると共に、効果が高い。
	総合評価 ・継続すべきか ・改善が必要ではないか ・廃止すべきではないか	A:このまま継続 B:改善して継続 C:廃止または中止	A	毎年、観光資源をPRしており、交流人口につながっているため、継続すべきである。

:\*\*\*\*\*: \*\* 以下担当者入力不要 \*\* \*\*\*\*\*

7. 評価（審査会の評価）

	判定区分	意見
事業効果・評価	<input checked="" type="checkbox"/> (A)非常に効果的であった <input type="checkbox"/> (B)やや効果的であった <input type="checkbox"/> (C)相当程度効果があった <input type="checkbox"/> (D)効果がほとんどなかった <input type="checkbox"/> (E)効果がなかった	<p>コロナ禍でイベントが出来なかった事業については評価できない。            イベント自体は効果が大きく継続すべきだが、温泉まつりは夜イベントの賑やかさが日中にも欲しい。</p>
今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> (A)さらに発展させるべき(拡大) <input type="checkbox"/> (B)効果があるので継続 <input type="checkbox"/> (C)内容の見直しが必要(改善) <input type="checkbox"/> (D)効果が見込めないため廃止	<p>イベント内容に変化が見られないので見直しが必要。            若い人から高齢者まで楽しめるイベント内容の検討を。</p>

全体評価・コメント

イベント内容の精査が必要。温泉まつりは日中も楽しめる内容の検討を。

8. 議会の評価・コメント

## 令和3年度事業 三種町みらい創造プラン 事業検証シート

1. 基本事項	事業番号	32	担当課名	農林課
計画種別	みらい創造プラン ・ 国土強靱化 ・ 行革推進計画 ・ 過疎地域持続的発展計画 男女共同参画推進計画 ・ 地域再生計画(企業版ふるさと納税)			
基本政策	地元で安心して働ける雇用を創るまち	重点戦略	稼げる産業をつくる戦略	
主要施策	農林水産業の振興	重点施策	農業生産基盤の安定化と所得向上	
施策項目	スマート農業導入による生産性の向上	重点項目	スマート事業導入による生産性の向上	

### 2. 概要

名称	スマート農業導入に向けた人材育成
Plan 目的	米価の低迷や農業生産資材等の高騰により、水田経営を巡る状況がかつてない厳しい局面をむかえていることから、スマート農業等の省力化栽培技術等の情報を収集し、町内農家へ周知を図るとともに普及拡大をさせていく。
Plan 内容	当面は、個別の事業(事業費)をもたず、実証圃場での周知に努める。

### 3. 実績

Do 取組状況	令和3年については、個別の事業を行わず、実証圃場での実演会等の開催を行った。
Check・Action 成果・課題等	農家への個別事業での推進については時期尚早であり、技術の周知等に努める。

### 4. 重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値	実績値		評価
			途中経過	最終値	
5年後までの実演会等を通じた周知(累計)	2	5	2		C

※評価欄は、A:目標値以上、B:目標値と同等、C:目標値未満、D:進捗なし から選んで入力

### 5. コスト

経費	0	円	うち一般財源	0	円
			うち特定財源	0	円

6. 効果（担当課の評価）

	評価項目	評価区分	評価	評価の理由
一次評価（担当課）	妥当性 ・住民のニーズが高いか ・受益者負担は適当か ・町が関与すべき事業か ・目的・対象は妥当か	a:効果が高い	C	妥当
	将来性 ・課題解決にとどまらず将来性があるか	b:効果がやや高い C:相当程度の効果	C	妥当
	効率性 ・コスト削減や効率的な手法が他にないか ・費用対効果はどうか	d:効果がやや低い	C	妥当
	有効性 ・目的の実現に効果的か ・成果が期待できるか	e:効果がない	C	妥当
	総合評価 ・継続すべきか ・改善が必要ではないか ・廃止すべきではないか	A:このまま継続 B:改善して継続 C:廃止または中止	B	国、県等の補助金や技術進展の状況を見定める必要あり。

:\*\*\*\*\*: \*\* 以下担当者入力不要 \*\* \*\*\*\*\*

7. 評価（審査会の評価）

	判定区分	意見
事業効果・評価	<input type="checkbox"/> (A)非常に効果的であった <input type="checkbox"/> (B)やや効果的であった <input checked="" type="checkbox"/> (C)相当程度効果があった <input type="checkbox"/> (D)効果がほとんどなかった <input type="checkbox"/> (E)効果がなかった	担い手への農地集約でスマート農業は必須になっている。農家は興味はあるが、投資に見合う効果があるか知りたがっているので情報提供を進めるべきである。
今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> (A)さらに発展させるべき(拡大) <input type="checkbox"/> (B)効果があるので継続 <input type="checkbox"/> (C)内容の見直しが必要(改善) <input type="checkbox"/> (D)効果が見込めないため廃止	担い手が減り、スマート農業を進めなければ営農ができなくなっていく。町は支援と協力を。

全体評価・コメント

興味のある人が多いため、事業を発展させて情報提供を進めてほしい。

8. 議会の評価・コメント

## 令和3年度事業 三種町みらい創造プラン 事業検証シート

1. 基本事項	事業番号	41	担当課名	農林課
計画種別	みらい創造プラン・国土強靱化・行革推進計画・過疎地域持続的発展計画 男女共同参画推進計画・地域再生計画(企業版ふるさと納税)			
基本政策	地元で安心して働ける雇用を創るまち	重点戦略	稼げる産業をつくる戦略	
主要施策	農林水産業の振興	重点施策	農業生産基盤の安定化と所得向上	
施策項目	農業の基盤整備	重点項目	農業の基盤整備	

### 2. 概要

名称	草地畜産基盤整備事業
Plan 目的	公共牧場において草地整備を計画的に実施し、既存草地を高位生産性の草地に整備して良質粗飼料の増産確保に努めるとともに、飼養頭数の増加に対応した放牧地への預託受入体制を強化し、畜産経営の安定に資する。
Plan 内容	事業実施期間: R2年度～R5年度(R2は調査計画) 草地整備改良: 30.4ha 隔障物整備: 1,000m

### 3. 実績

Do 取組状況	R3年度事業実施状況 草地整備改良: 8.6ha 隔障物整備: 658m
Check・Action 成果・課題等	改良後の草地に対しての追肥を毎年度行いより良質な粗飼料を継続的に確保する。

### 4. 重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値	実績値		評価
			途中経過	最終値	
R5年度完了事業 実施面積	8.6ha	30ha	8.6ha		B

※評価欄は、A:目標値以上、B:目標値と同等、C:目標値未満、D:進捗なし から選んで入力

### 5. コスト

経費	100,255,000	円	うち一般財源	50,130,000	円
			うち特定財源		円

6. 効果（担当課の評価）

	評価項目	評価区分	評価	評価の理由
一次評価（担当課）	妥当性 ・住民のニーズが高いか ・受益者負担は適当か ・町が関与すべき事業か ・目的・対象は妥当か	a:効果が高い	a	町営牧場である。
	将来性 ・課題解決にとどまらず将来性があるか	b:効果がやや高い C:相当程度の効果	a	公共牧場の利用農家は今後増頭意思が高い。
	効率性 ・コスト削減や効率的な手法が他にないか ・費用対効果はどうか	d:効果がやや低い	c	利用農家数が少ないため、費用対効果はあまり望めない。
	有効性 ・目的の実現に効果的か ・成果が期待できるか	e:効果がない	a	牛によくないバラ等が生えているが、改良することによって良質の粗飼料を確保できる。
	総合評価 ・継続すべきか ・改善が必要ではないか ・廃止すべきではないか	A:このまま継続 B:改善して継続 C:廃止または中止	B	利用農家数又は放牧頭数を増やす。

:\*\*\*\*\*: \*\* 以下担当者入力不要 \*\* \*\*\*\*\*

7. 評価（審査会の評価）

	判定区分	意見
事業効果・評価	<input type="checkbox"/> (A)非常に効果的であった <input checked="" type="checkbox"/> (B)やや効果的であった <input type="checkbox"/> (C)相当程度効果があった <input type="checkbox"/> (D)効果がほとんどなかった <input type="checkbox"/> (E)効果がなかった	草地更新完了前だが、放牧する農家にとっては良い事業である。
今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> (A)さらに発展させるべき(拡大) <input type="checkbox"/> (B)効果があるので継続 <input type="checkbox"/> (C)内容の見直しが必要(改善) <input type="checkbox"/> (D)効果が見込めないため廃止	町内は2経営体のみなので、町外からの放牧を増やし費用対効果を高める必要がある。

全体評価・コメント

今後の利用者・放牧数の増加へ取組を進める必要がある。

8. 議会の評価・コメント

## 令和3年度事業 三種町みらい創造プラン 事業検証シート

1. 基本事項	事業番号	47	担当課名	農林課
計画種別	みらい創造プラン・国土強靱化・行革推進計画・過疎地域持続的発展計画 男女共同参画推進計画・地域再生計画(企業版ふるさと納税)			
基本政策	地元で安心して働ける雇用を創るまち	重点戦略	稼げる産業をつくる戦略	
主要施策	農林水産業の振興	重点施策	農業生産基盤の安定化と所得向上	
施策項目	生産経営体制の強化・育成	重点項目	生産経営体制の強化・育成	

### 2. 概要

名称	じゅんさい生産数量助成事業
Plan 目的	日本有数の生産量を誇る三種町のじゅんさいの生産量が単価の低迷及び農家のとりこ不足により近年減少の傾向にあることから、農家の生産意欲向上を図るため出荷量に対して助成し、生産量の拡大を図る。
Plan 内容	生産農家 30円/kg 摘み手 20円/kg

### 3. 実績

Do 取組状況	令和3年度実績 生産農家 139.5t 134戸 4,184,421円 摘み手 136.8t 241戸 2,736,842円
Check・Action 成果・課題等	令和2年度よりつみてへも数量に応じた金額を支給。生産量助成によって意欲を高くもつことは出来ている一方、農家全体で高齢化が進み、生産農家が減少しているため、じゅんさい生産農家も減少している。

### 4. 重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値	実績値		評価
			途中経過	最終値	
5年後までに現状の8割を維持	134戸	107戸	134		A

※評価欄は、A:目標値以上、B:目標値と同等、C:目標値未満、D:進捗なし から選んで入力

### 5. コスト

経費	6,921,263 円	うち一般財源	6,921,263 円
		うち特定財源	円

6. 効果（担当課の評価）

	評価項目	評価区分	評価	評価の理由
一次評価（担当課）	妥当性 ・住民のニーズが高いか ・受益者負担は適当か ・町が関与すべき事業か ・目的・対象は妥当か	a:効果が高い	C	妥当
	将来性 ・課題解決にとどまらず 将来性があるか	b:効果がやや高い C:相当程度の効果	C	妥当
	効率性 ・コスト削減や効率的な 手法が他にないか ・費用対効果はどうか	d:効果がやや低い	C	妥当
	有効性 ・目的の実現に効果的か ・成果が期待できるか	e:効果がない	C	妥当
	総合評価 ・継続すべきか ・改善が必要ではないか ・廃止すべきではないか	A:このまま継続 B:改善して継続 C:廃止または中止	A	引続き支援することで生産農家及び摘み手の意欲向上に努める

:\*\*\*\*\*: \*\* 以下担当者入力不要 \*\* \*\*\*\*\*

7. 評価（審査会の評価）

	判定区分	意見
事業効果・評価	<input checked="" type="checkbox"/> (A)非常に効果的であった <input type="checkbox"/> (B)やや効果的であった <input type="checkbox"/> (C)相当程度効果があった <input type="checkbox"/> (D)効果がほとんどなかった <input type="checkbox"/> (E)効果がなかった	町の特産品であり支援は必要だが、事業の目的と農家の意識の把握をする必要があるのではないか。
今後の方針	<input type="checkbox"/> (A)さらに発展させるべき(拡大) <input checked="" type="checkbox"/> (B)効果があるので継続 <input type="checkbox"/> (C)内容の見直しが必要(改善) <input type="checkbox"/> (D)効果が見込めないため廃止	面積の拡大は難しいが、特産品支援は継続が必要。

全体評価・コメント

生産されたじゅんさいを町の別事業にも活用を広げ、相乗効果を高めて欲しい。

8. 議会の評価・コメント

## 令和3年度事業 三種町みらい創造プラン 事業検証シート

1. 基本事項	事業番号	48	担当課名	農林課
計画種別	みらい創造プラン・国土強靱化・行革推進計画・過疎地域持続的発展計画 男女共同参画推進計画・地域再生計画(企業版ふるさと納税)			
基本政策	地元で安心して働ける雇用を創るまち	重点戦略	稼げる産業をつくる戦略	
主要施策	農林水産業の振興	重点施策	農業生産基盤の安定化と所得向上	
施策項目	生産経営体制の強化・育成	重点項目	生産経営体制の強化・育成	

### 2. 概要

名称	メロン産地育成事業
Plan 目的	メロン種子及び種苗の購入費用を助成する事で、町の特産品であるメロン生産量の維持、拡大を図る。
Plan 内容	窓口受付及びJA経由にて、メロンの生産並びに販売をした農家の種子購入費の一部を助成する。 種子及び種苗購入費(税抜)の1/3補助 (作付面積10a以上、補助上限10万円)

### 3. 実績

Do 取組状況	R3年度 窓口申請分 949,000円 JA申請分 1,257,000円 合計 2,206,000円(79件)
Check・Action 成果・課題等	例年申請が多く、メロン農家を支援する事に大きく寄与している。 高齢化や経営規模縮小により、メロンを生産・販売していても、作付面積不足などで助成の対象とならないメロン農家が今後増加すると考えられる。

### 4. 重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値	実績値		評価
			途中経過	最終値	
申請件数	79件	80件		79件	C

※評価欄は、A:目標値以上、B:目標値と同等、C:目標値未満、D:進捗なし から選んで入力

### 5. コスト

経費	2,206,000 円	うち一般財源	2,206,000 円
		うち特定財源	0 円

6. 効果（担当課の評価）

	評価項目	評価区分	評価	評価の理由
一次評価（担当課）	妥当性 ・住民のニーズが高いか ・受益者負担は適当か ・町が関与すべき事業か ・目的・対象は妥当か	a:効果が高い	a	町の特産品やふるさと納税の返礼品として内外の需要も高く、負担に比してリターンが大きい。十分に町が関与すべき事業である。
	将来性 ・課題解決にとどまらず将来性があるか	b:効果がやや高い C:相当程度の効果	b	過去4年間において、作付面積の合計は273,206㎡と例年並みだが、平均は3,742㎡と最も大きい。農家ごとのメロン生産の規模拡大が課題となる。
	効率性 ・コスト削減や効率的な手法が他にないか ・費用対効果はどうか	d:効果がやや低い	a	R3年度事業費6,984,284円に対し販売額124,431,604円と費用対効果が非常に高い。
	有効性 ・目的の実現に効果的か ・成果が期待できるか	e:効果がない	b	例年申請者は90名程度おりほぼ横ばいで推移しているが、経営規模の縮小によって生産量自体は減少するものと思われる。
	総合評価 ・継続すべきか ・改善が必要ではないか ・廃止すべきではないか	A:このまま継続 B:改善して継続 C:廃止または中止	A	高齢化等によるメロン農家の減少は避けられない。今後の動向次第では助成要件を見直す必要があると思われるが、当面は現状維持が良い。

:\*\*\*\*\*: \*\* 以下担当者入力不要 \*\* \*\*\*\*\*

7. 評価（審査会の評価）

	判定区分	意見
事業効果・評価	<input checked="" type="checkbox"/> (A)非常に効果的であった <input type="checkbox"/> (B)やや効果的であった <input type="checkbox"/> (C)相当程度効果があった <input type="checkbox"/> (D)効果がほとんどなかった <input type="checkbox"/> (E)効果がなかった	町の特産品であり支援は必要だが、事業の目的と農家の意識の把握をする必要がある。
今後の方針	<input type="checkbox"/> (A)さらに発展させるべき(拡大) <input checked="" type="checkbox"/> (B)効果があるので継続 <input type="checkbox"/> (C)内容の見直しが必要(改善) <input type="checkbox"/> (D)効果が見込めないため廃止	面積の拡大は難しいが、特産品支援は継続が必要。

全体評価・コメント

(じゅんさい同様)他事業へも波及するように事業を進めてほしい。

8. 議会の評価・コメント

## 令和3年度事業 三種町みらい創造プラン 事業検証シート

1. 基本事項	事業番号	55	担当課名	農林課
計画種別	みらい創造プラン・国土強靱化・行革推進計画・過疎地域持続的発展計画 男女共同参画推進計画・地域再生計画(企業版ふるさと納税)			
基本政策	地元で安心して働ける雇用を創るまち	重点戦略		
主要施策	農林水産業の振興	重点施策		
施策項目	生産経営体制の強化・育成	重点項目		

### 2. 概要

名称	有害鳥獣駆除事業
Plan 目的	鳥獣による農林水産業の被害の防止又は軽減させるため、鳥獣被害対策実施隊(以下、実施隊)を設置し、捕獲及び情報収集を行い、被害防止対策を適切に実施する。
Plan 内容	農作物や人身被害(のおそれがある場合も含む)の情報が寄せられた場合に、被害状況の聞き取りや確認をし、ワナの設置、巡回、捕獲等の活動を実施隊が行う。実施隊に対しては活動期間と内容に応じて報酬を支払う。また、ワナ等備品の設備の購入・修繕、電気柵設置の補助金交付。

### 3. 実績

Do 取組状況	①カラス被害対策・・・八竜地区のメロンへの被害対策として駆除を4月から8月まで実施。 ②ツキノワグマ被害対策・・・農作物被害や目撃情報の多い場所へのワナ設置と巡回を4月から11月まで実施。 ③電気柵設置補助・・・イノシシなどの農作物被害対策として10万円を上限として、設置に要する経費の2分の1を補助する事業を実施 ④その他鳥獣・・・県主催で講師を招いてイノシシ捕獲の講習会を実施。
Check・Action 成果・課題等	①147羽の駆除実施。 ②18頭を捕獲・処理、新たに箱ワナを4基購入した。今年度は三種町初の人身被害が発生した。 ③問い合わせ3件、事業申請後に取り下げ1件があり、交付に結びついていない。 ④イノシシによる農作物被害が数件寄せられていることから、R4年度以降、ノウハウの蓄積も含めて、対策を強化する必要がある。

### 4. 重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値	実績値		評価
			途中経過	最終値	
農作物被害(カラス)	30千円	27千円		30千円	C
農作物被害(クマ)	80千円	20千円		80千円	C

※評価欄は、A:目標値以上、B:目標値と同等、C:目標値未満、D:進捗なし から選んで入力

### 5. コスト

経費	5,565,000 円	うち一般財源	5,565,000 円
		うち特定財源	円

6. 効果（担当課の評価）

	評価項目	評価区分	評価	評価の理由
一次評価（担当課）	妥当性 ・住民のニーズが高いか ・受益者負担は適当か ・町が関与すべき事業か ・目的・対象は妥当か	a:効果が高い	a	毎年要望全てに応えきれないほど、設置要請の連絡が寄せられる。
	将来性 ・課題解決にとどまらず将来性があるか	b:効果がやや高い C:相当程度の効果	d	実施隊の隊員の高齢化が進んでいる。 →将来的には業者委託も検討すべき
	効率性 ・コスト削減や効率的な手法が他にないか ・費用対効果はどうか	d:効果がやや低い	c	カラス(R3:147羽)、クマ(R3:18頭)の処理又は捕獲など、一定の効果は上げている。
	有効性 ・目的の実現に効果的か ・成果が期待できるか	e:効果がない	c	カラス(R3:147羽)、クマ(R3:18頭)の処理又は捕獲など、一定の効果は上げている。
	総合評価 ・継続すべきか ・改善が必要ではないか ・廃止すべきではないか	A:このまま継続 B:改善して継続 C:廃止または中止	B	イノシシ、ニホンジカの被害防止対策と、R3に発生した人身被害を今後防止するため、ワナの設置方法などを検討する必要があるのではないか。

:\*\*\*\*\*: \*\* 以下担当者入力不要 \*\* \*\*\*\*\*

7. 評価（審査会の評価）

	判定区分	意見
事業効果・評価	<input checked="" type="checkbox"/> (A)非常に効果的であった <input type="checkbox"/> (B)やや効果的であった <input type="checkbox"/> (C)相当程度効果があった <input type="checkbox"/> (D)効果がほとんどなかった <input type="checkbox"/> (E)効果がなかった	被害の状況から、今後も継続すべき事業である。
今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> (A)さらに発展させるべき(拡大) <input type="checkbox"/> (B)効果があるので継続 <input type="checkbox"/> (C)内容の見直しが必要(改善) <input type="checkbox"/> (D)効果が見込めないため廃止	熊やカラスの駆除だけでなく、アナグマ等の獣害被害への対応が必要。

全体評価・コメント

今後も獣害被害の拡大が予想されるので、対策強化が必要。

8. 議会の評価・コメント

## 令和3年度事業 三種町みらい創造プラン 事業検証シート

1. 基本事項	事業番号	63	担当課名	商工観光交流課
計画種別	未来創造プラン ・ 国土強靱化 ・ 行革推進計画 ・ 過疎地域持続的発展計画 男女共同参画推進計画 ・ 地域再生計画(企業版ふるさと納税)			
基本政策	地元で安心して働ける雇用を創るまち	重点戦略	稼げる産業をつくる戦略	
主要施策	農林水産業の振興	重点施策	農業生産基盤の安定化と所得向上	
施策項目	農産物の高付加価値化	重点項目	農産物の高付加価値化	

### 2. 概要

名称	森岳じゅんさいの里活性化協議会補助事業
Plan 目的	じゅんさいによる地域づくりのため、森岳じゅんさい産業育成ビジョンに基づき、生産、加工、環境、観光分野について支援し、ビジョンの実現を目指す。日本有数のじゅんさいの産地として、経営強化及び所得向上、人材確保を図る。
Plan 内容	安全安心な高品質なじゅんさいの生産めざすため、JGAP団体認証を取得し、三種町のじゅんさいの普及、消費拡大を図る。また、じゅんさいに関する各種イベント、販売促進により、地域の活性化を図る。

### 3. 実績

Do 取組状況	JGAP農家の募集、じゅんさい摘み採り体験の実施、各種イベントの開催、販売促進の実施
Check・Action 成果・課題等	JGAPじゅんさい農家は高齢化、担い手不足等により年々減少している。摘み採り体験はメディア等を通じてPRし、体験者は大幅に増加した。三種町産のじゅんさいの普及、消費に繋がっている。令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、各種イベント、首都圏等の販売促進が実施できなかった。

### 4. 重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値	実績値		評価
			途中経過	最終値	
JGAPじゅんさい農家	17	17(R3)		16	C
摘み採り体験者数	1,063	1,500(R3)		2,018	A

※評価欄は、A:目標値以上、B:目標値と同等、C:目標値未満、D:進捗なし から選んで入力

### 5. コスト

経費	7,000,000	円	うち一般財源	7,000,000	円
			うち特定財源	0	円

6. 効果（担当課の評価）

	評価項目	評価区分	評価	評価の理由
一次評価（担当課）	妥当性 ・住民のニーズが高いか ・受益者負担は適当か ・町が関与すべき事業か ・目的・対象は妥当か	a: 効果が高い	b	日本有数のじゅんさいの産地として活性化事業を継続していく。
	将来性 ・課題解決にとどまらず将来性があるか	b: 効果がやや高い C: 相当程度の効果	c	じゅんさい農家の減少、摘み手不足等により、産地としての課題が多いのが現状
	効率性 ・コスト削減や効率的な手法が他にないか ・費用対効果はどうか	d: 効果がやや低い	d	JGAP認証によるメリットが少ないのが現状、JGAPの継続等について検討が必要
	有効性 ・目的の実現に効果的か ・成果が期待できるか	e: 効果がない	b	摘み採り体験等のイベントによりじゅんさいの普及、知名度向上に効果的である。
	総合評価 ・継続すべきか ・改善が必要ではないか ・廃止すべきではないか	A: このまま継続 B: 改善して継続 C: 廃止または中止	B	JGAP認証の継続については、検討が必要である。

: \* \* \* \* \* : \*\* 以下担当者入力不要 \*\* \* \* \* \* \*

7. 評価（審査会の評価）

	判定区分	意見
事業効果・評価	<input type="checkbox"/> (A)非常に効果的であった <input checked="" type="checkbox"/> (B)やや効果的であった <input type="checkbox"/> (C)相当程度効果があった <input type="checkbox"/> (D)効果がほとんどなかった <input type="checkbox"/> (E)効果がなかった	JGAP認証による差別化が機能していない。 摘み採り体験はPR効果が大きい。
今後の方針	<input type="checkbox"/> (A)さらに発展させるべき(拡大) <input checked="" type="checkbox"/> (B)効果があるので継続 <input type="checkbox"/> (C)内容の見直しが必要(改善) <input type="checkbox"/> (D)効果が見込めないため廃止	新規じゅんさい農家の獲得も含め、関係団体と協力が必要。

全体評価・コメント

協議会の事業として、摘み採り体験は効果があるが、JGAP事業は継続も含め検討が必要。

8. 議会の評価・コメント

## 令和3年度事業 三種町みらい創造プラン 事業検証シート

1. 基本事項	事業番号	73	担当課名	商工観光交流課
計画種別	みらい創造プラン ・ 国土強靱化 ・ 行革推進計画 ・ 過疎地域持続的発展計画 男女共同参画推進計画 ・ 地域再生計画(企業版ふるさと納税)			
基本政策	地元で安心して働ける雇用を創るまち	重点戦略	稼げる産業をつくる戦略	
主要施策	商工業の振興	重点施策	雇用の促進と起業・創業の支援	
施策項目	商工業の活性化支援	重点項目	商工業の活性化支援	

### 2. 概要

名称	地域振興商品券発行事業
Plan 目的	三種町商工会が発行する「三種町プレミアム付商品券」は新型コロナウイルス感染症の影響を受ける町内事業者での消費促進と購買力の地域外流失を防止し、地元中小商工業者の育成と地域活性化に資することを目的とする。
Plan 内容	三種町に住所がある18歳以上の町民で、購入希望者に対し、額面1,000円の商品券を12枚を1セットとし10,000円で販売し、町内での消費促進と地域経済回復の支援を行う。プレミアム率20%、1人5セット50,000円まで購入可、発行数20,000セット、発行額2億4,000万円(2億円×120%)

### 3. 実績

Do 取組状況	三種町商工会が実施主体となり、町内全世帯への購入申込書を配布(7月広報に折り込み)し、購入希望者は購入申込書を商工会へ郵送する。商工会は購入希望者へ購入引換券を送付する。当選者は購入引換券を町内郵便局、商工会に持参し商品券を購入する。商品券は町内の取扱店で利用でき利用期限は令和4年1月14日まで。
Check・Action 成果・課題等	申込数が発行総数を上回ったため、抽選会を実施して当選者を決定し、当選者へ引換券を発行した。令和2年度に先着順で直接販売を実施した際、購入者が殺到した経緯があったが、令和3年度は事前申し込み方式に変更し大きな混乱はなかった。本事業により、地元事業者での消費促進及び購買力の流出防止により、地域経済の好循環に効果があったものとみられる。

### 4. 重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値	実績値		評価
			途中経過	最終値	
販売セット数	25,000	20,000(R3)		19,746	B
販売額	300,000千円	240,000千円(R3)		236,952千円	B
換金額	299,241千円	240,000千円(R3)		236,523千円	B

※評価欄は、A:目標値以上、B:目標値と同等、C:目標値未満、D:進捗なし から選んで入力

### 5. コスト

経費	44,543,234 円	うち一般財源	円
		うち特定財源	44,543,234 円

6. 効果（担当課の評価）

	評価項目	評価区分	評価	評価の理由
一次評価（担当課）	妥当性 ・住民のニーズが高いか ・受益者負担は適当か ・町が関与すべき事業か ・目的・対象は妥当か	a:効果が高い	a	住民ニーズは高い。
	将来性 ・課題解決にとどまらず将来性があるか	b:効果がやや高い C:相当程度の効果	a	継続することにより地域経済の活性化につながる。
	効率性 ・コスト削減や効率的な手法が他にないか ・費用対効果はどうか	d:効果がやや低い	a	経済の好循環により、費用対効果は高い。
	有効性 ・目的の実現に効果的か ・成果が期待できるか	e:効果がない	a	地域経済の活性化に効果的である。
	総合評価 ・継続すべきか ・改善が必要ではないか ・廃止すべきではないか	A:このまま継続 B:改善して継続 C:廃止または中止	A	事業内容を見直しながら、より効果的な方法で継続する。

:\*\*\*\*\*: \*\* 以下担当者入力不要 \*\* \*\*\*\*\*

7. 評価（審査会の評価）

	判定区分	意見
事業効果・評価	<input checked="" type="checkbox"/> (A)非常に効果的であった <input type="checkbox"/> (B)やや効果的であった <input type="checkbox"/> (C)相当程度効果があった <input type="checkbox"/> (D)効果がほとんどなかった <input type="checkbox"/> (E)効果がなかった	町内経済刺激策として有効であり、内需喚起になっている。
今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> (A)さらに発展させるべき(拡大) <input type="checkbox"/> (B)効果があるので継続 <input type="checkbox"/> (C)内容の見直しが必要(改善) <input type="checkbox"/> (D)効果が見込めないため廃止	販売額やプレミアム率を拡大できないか検討する。

全体評価・コメント

町内への経済効果が大きいので、今後も継続・拡大の方向で事業を進めてほしい。

8. 議会の評価・コメント

## 令和3年度事業 三種町みらい創造プラン 事業検証シート

1. 基本事項	事業番号	78	担当課名	商工観光交流課
計画種別	みらい創造プラン ・ 国土強靱化 ・ 行革推進計画 ・ 過疎地域持続的発展計画 男女共同参画推進計画 ・ 地域再生計画(企業版ふるさと納税)			
基本政策	地元で安心して働ける雇用を創るまち	重点戦略	稼げる産業をつくる戦略	
主要施策	商工業の振興	重点施策	雇用の促進と起業・創業の支援	
施策項目	雇用促進・起業・事業承継の支援	重点項目	雇用の促進・起業・事業継承の支援	

### 2. 概要

名称	資格取得支援事業
Plan 目的	仕事や就職に役立つ資格または免許の取得に要する経費のを補助し、就労者の能力向上、求職者や学生の就業機会の拡大を図ることを目的とする。
Plan 内容	町内に住所を有する65歳未満の方(求職者、就労者、学生)が資格取得に要する経費を支払った場合、または町内に本社、本店もしくは支店を有している事業所が従業員の資格取得にかかる費用を負担した場合、補助対象経費の2分の1を支給する。

### 3. 実績

Do 取組状況	町広報、ホームページ等で事業内容を周知し、要綱に基づき対象事業者へ補助金を交付した。
Check・Action 成果・課題等	就労者の資格取得に要する経費を補助することにより、能力向上を推進、地元企業への定着や雇用の継続、また求職者や学生の就業機会の拡大が図られた。 主な資格取得: 大型特殊自動車免許29件、車両系建設機械(整地等)運転技能講習14件、フォークリフト運転技能講習5件、大型自動車免許3件、介護福祉士3件など

### 4. 重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値	実績値		評価
			途中経過	最終値	
事業件数	57件	60件(R3)		68件	A
資格取得者数	85人	90件(R3)		89人	A
交付額	3,347千円	4,000千円(R3)		3,242千円	B

※評価欄は、A:目標値以上、B:目標値と同等、C:目標値未満、D:進捗なし から選んで入力

### 5. コスト

経費	3,242,000 円	うち一般財源	円
		うち特定財源	3,242,000 円

6. 効果（担当課の評価）

	評価項目	評価区分	評価	評価の理由
一次評価（担当課）	妥当性 ・住民のニーズが高いか ・受益者負担は適当か ・町が関与すべき事業か ・目的・対象は妥当か	a: 効果が高い	a	就労者等のニーズは高い。
	将来性 ・課題解決にとどまらず将来性があるか	b: 効果がやや高い C: 相当程度の効果	a	就労者の能力向上、求職者や学生の就業機会の拡大を図ることができる。
	効率性 ・コスト削減や効率的な手法が他にないか ・費用対効果はどうか	d: 効果がやや低い	a	資格取得を支援することにより、就労者の能力向上の推進をでき、収入増加に繋がるため、費用対効果は高い。
	有効性 ・目的の実現に効果的か ・成果が期待できるか	e: 効果がない	a	就労者の能力向上、求職者や学生の就業機会の拡大が期待できる。
	総合評価 ・継続すべきか ・改善が必要ではないか ・廃止すべきではないか	A: このまま継続 B: 改善して継続 C: 廃止または中止	A	現在の事業内容で継続していく

: \* \* \* \* \* : \*\* 以下担当者入力不要 \*\* \* \* \* \* \*

7. 評価（審査会の評価）

	判定区分	意見
事業効果・評価	<input checked="" type="checkbox"/> (A)非常に効果的であった <input type="checkbox"/> (B)やや効果的であった <input type="checkbox"/> (C)相当程度効果があった <input type="checkbox"/> (D)効果がほとんどなかった <input type="checkbox"/> (E)効果がなかった	利用者も多く非常に有用である。
今後の方針	<input type="checkbox"/> (A)さらに発展させるべき(拡大) <input checked="" type="checkbox"/> (B)効果があるので継続 <input type="checkbox"/> (C)内容の見直しが必要(改善) <input type="checkbox"/> (D)効果が見込めないため廃止	引き続き継続。

全体評価・コメント

有用な事業なので継続。

8. 議会の評価・コメント

## 令和3年度事業 三種町みらい創造プラン 事業検証シート

1. 基本事項	事業番号	82	担当課名	福祉課
計画種別	みらい創造プラン ・ 国土強靱化 ・ 行革推進計画 ・ 過疎地域持続的発展計画 男女共同参画推進計画 ・ 地域再生計画(企業版ふるさと納税)			
基本政策	誰もが健やかでいきいきと暮らせるまち	重点戦略	みたねの子ども育成戦略	
主要施策	子育て環境の充実	重点施策	安心して子育てできる環境の整備	
施策項目	安心して出産・子育てできる環境づくり	重点項目	安心して出産・子育てのできる環境づくり	

### 2. 概要

名称	赤ちゃん誕生祝金支給事業
Plan 目的	三種町の人口増加を図り、若年層の定着化と出産を奨励するとともに、併せて出生時の健康増進を願い、健康で豊かな町づくりに資するため
Plan 内容	第2子以降の子を出産した者、またはその配偶者へ誕生祝金(第2子20万円、第3子以降30万円)を支給

### 3. 実績

Do 取組状況	令和3年度 第2子14名、第3子以降9名へ支給
Check・Action 成果・課題等	類似の事業は他市町村でも行われており、町独自の事業としての目新しさはなく、人口増加及び若年層の定着化を目的とした事業としての効果は低い H28 36名 8,400,000円、それ以前は1千万円以上の時代があったが、年年出生数が減少している。

### 4. 重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値	実績値		評価
			途中経過	最終値	

※評価欄は、A:目標値以上、B:目標値と同等、C:目標値未満、D:進捗なし から選んで入力

### 5. コスト

経費	5,500,000 円	うち一般財源	5,500,000 円
		うち特定財源	0 円

6. 効果（担当課の評価）

	評価項目	評価区分	評価	評価の理由
一次評価（担当課）	妥当性 ・住民のニーズが高いか ・受益者負担は適当か ・町が関与すべき事業か ・目的・対象は妥当か	a:効果が高い	C	現金支給のため、出生に係る費用負担等の軽減に繋がり対象者からのニーズは高いと考えられるが、人口増加を目的とする事業としての効果は低い
	将来性 ・課題解決にとどまらず将来性があるか	b:効果がやや高い C:相当程度の効果	d	出生時の一時的な支給で、継続的な支援ではないため、将来にわたる若年層の定着化に繋がっているとは言い難い
	効率性 ・コスト削減や効率的な手法が他にないか ・費用対効果はどうか	d:効果がやや低い	d	県内の他市町村の類似事業と比較し、支給単価は高額な方であり、費用対効果は低い
	有効性 ・目的の実現に効果的か ・成果が期待できるか	e:効果がない	d	類似の事業は他市町村でも行われており、町独自の事業としての目新しさはなく、人口増加を目的とする事業としての効果は低い
	総合評価 ・継続すべきか ・改善が必要ではないか ・廃止すべきではないか	A:このまま継続 B:改善して継続 C:廃止または中止	B	他市町村で類似事業が行われていることや、祝金は一時的な支給のため、人口増加や若年層の定着化を目的とした事業としての効果は低く、いずれは改善が必要

:\*\*\*\*\*: \*\* 以下担当者入力不要 \*\* \*\*\*\*\*

7. 評価（審査会の評価）

	判定区分	意見
事業効果・評価	<input type="checkbox"/> (A)非常に効果的であった <input type="checkbox"/> (B)やや効果的であった <input type="checkbox"/> (C)相当程度効果があった <input checked="" type="checkbox"/> (D)効果がほとんどなかった <input type="checkbox"/> (E)効果がなかった	<p>給付の目的設定がすごく大事。一時的な給付による支援よりも継続的な支援が必要なのではないか。出生数を増やすことに効果がなければ、他の手法に変える必要がある。</p>
今後の方針	<input type="checkbox"/> (A)さらに発展させるべき(拡大) <input type="checkbox"/> (B)効果があるので継続 <input checked="" type="checkbox"/> (C)内容の見直しが必要(改善) <input type="checkbox"/> (D)効果が見込めないため廃止	<p>出産や子育てについて、周りに頼れる人がいないケースが増えているため、出産前からの精神的なサポートが必要ではないか。現状の見直しが必要な時期に来ている。(LMC制度のすすめ)</p>

全体評価・コメント

出産や子育てサポートや支援の方法について、関係課で相談しながら検討してほしい。

8. 議会の評価・コメント

# 令和3年度事業 三種町みらい創造プラン 事業検証シート

1. 基本事項	事業番号	97	担当課名	健康推進課
計画種別	みらい創造プラン ・ 国土強靱化 ・ 行革推進計画 ・ 過疎地域持続的発展計画 男女共同参画推進計画 ・ 地域再生計画(企業版ふるさと納税)			
基本政策	誰もが健やかでいきいきと暮らせるまち	重点戦略		
主要施策	健康寿命の延伸	重点施策		
施策項目	疾病予防の推進	重点項目		

## 2. 概要

名称	自殺対策事業
Plan 目的	様々な事業を通じて、すべての町民が自殺に追い込まれることがないように取り組む。住民相互のつながりや支え合いにより、一人で問題を抱え込まず前向きに暮らせるよう地域のネットワークづくりや複合的で多様な問題に対し包括的に支援するため
Plan 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活に関する無料相談会、こころの無料相談会、いのちの大切さ講座を開催</li> <li>・巡回健康相談(町内の公民館や集会場で血圧測定、あんま師による肩や腰のあんまを実施。合同でボランティア団体によるコーヒースロン開催)</li> <li>・出前交流サロン(ボランティア団体と協力し、地域の集会所へ出向いて健康相談や健康講話を実施)</li> <li>・心のふれあい相談員養成講座(町民を対象に傾聴のスキルアップを目的に開催)</li> <li>・こころの体温計(町のホームページから気軽にストレスチェックができる場を提供)</li> <li>・自殺予防グッズ(ポケットティッシュ、マスクを作成し配布)</li> <li>・活動団体支援(町内3つのボランティア団体の自殺予防活動を支援)</li> </ul>

## 3. 実績

Do 取組状況	①対面相談事業(生活に関する無料相談会6回、こころの無料相談会6回、巡回健康相談67回、出前交流サロン3回) ②人材養成(心のふれあい相談員養成講座2回) ③普及啓発(こころの体温計、自殺予防グッズ作成、活動団体支援) ④若年層対策事業(いのちの大切さ講座6回)
Check・Action 成果・課題等	H3～R3まで秋田県の自殺率が国内でワースト1位25回、ワースト2位3回。自殺者数は前年より減少したが高止まりの状況である。また新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止となった事業もあり十分に活動することができなかった。人数制限や会場の座席の間隔を空けるなど感染対策をとりながら開催する。

## 4. 重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値	実績値		評価
			途中経過	最終値	
養成講座参加者数	0人	30人		21人	C

※評価欄は、A:目標値以上、B:目標値と同等、C:目標値未満、D:進捗なし から選んで入力

## 5. コスト

経費	1,464,010 円	うち一般財源	712,010 円
		うち特定財源	752,000 円

6. 効果（担当課の評価）

	評価項目	評価区分	評価	評価の理由
一次評価（担当課）	妥当性 ・住民のニーズが高いか ・受益者負担は適当か ・町が関与すべき事業か ・目的・対象は妥当か	a:効果が高い	c	実際に相談を受ける機会がある方々の参加も多く、積極的な参加がみられるためニーズは高い。
	将来性 ・課題解決にとどまらず将来性があるか	b:効果がやや高い C:相当程度の効果	b	養成講座の受講した方が増えることで、地域全体でこころの健康を守る地域づくりにつながる。
	効率性 ・コスト削減や効率的な手法が他にないか ・費用対効果はどうか	d:効果がやや低い	c	地域で様々な役割を担う方々も講座に参加するため、参加者同士での話し合いも可能であり、効率的な手法である。
	有効性 ・目的の実現に効果的か ・成果が期待できるか	e:効果がない	c	養成講座の受講した方が増えることで、地域全体でこころの健康を守る地域づくりにつながる。
	総合評価 ・継続すべきか ・改善が必要ではないか ・廃止すべきではないか	A:このまま継続 B:改善して継続 C:廃止または中止	A	地域全体でこころの健康を守る地域づくりにつなげるため、国や県の施策、町民のニーズを参考に、必要に応じて改善しながら継続していく。

:\*\*\*\*\*: \*\* 以下担当者入力不要 \*\* \*\*\*\*\*

7. 評価（審査会の評価）

	判定区分	意見
事業効果・評価	<input checked="" type="checkbox"/> (A)非常に効果的であった <input type="checkbox"/> (B)やや効果的であった <input type="checkbox"/> (C)相当程度効果があった <input type="checkbox"/> (D)効果がほとんどなかった <input type="checkbox"/> (E)効果がなかった	生活苦、経済苦、病苦がストレス要因になり鬱になっているケースが多く、自尊感情の崩壊と孤独（物理的孤独・心理的孤独）が合わさると自殺率が高くなるという先行研究がある。それを防ぐため町のさまざまな支援があり、地域の高齢者と若者の交流も行われている。
今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> (A)さらに発展させるべき(拡大) <input type="checkbox"/> (B)効果があるので継続 <input type="checkbox"/> (C)内容の見直しが必要(改善) <input type="checkbox"/> (D)効果が見込めないため廃止	さまざまな関係機関と連携することで、未然に防ぐことが出来る。引き続き支援の継続を。

全体評価・コメント

以前は自殺率全国ワーストの秋田県の中でも三種町は高い率だったが、令和2年10位、令和3年は8位となっている。支援は、まだまだ必要である。

8. 議会の評価・コメント

## 令和3年度事業 三種町みらい創造プラン 事業検証シート

1. 基本事項	事業番号	126	担当課名	福祉課
計画種別	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">みらい創造プラン</span> ・国土強靱化・行革推進計画・過疎地域持続的発展計画 男女共同参画推進計画・地域再生計画(企業版ふるさと納税)			
基本政策	誰もが健やかでいきいきと暮らせるまち	重点戦略		
主要施策	社会福祉の充実	重点施策		
施策項目	地域福祉の推進	重点項目		

### 2. 概要

名称	配食サービス事業
Plan 目的	65歳以上の単身世帯、高齢者のみ世帯等、食事の調理が困難な在宅高齢者等に対し、定期的に栄養バランスの取れた食事の提供を行うとともに、安否確認を目的とする。
Plan 内容	週1回400円で食事を配達するとともに、安否確認をする。(社会福祉協議会に委託)

### 3. 実績

Do 取組状況	配食数 月平均107食(山本59食、琴丘47食、八竜利用なし) 年間総利用回数 1,278食
Check・Action 成果・課題等	・コストが1食あたり1,500円程度(うち利用料400円/回)となっている。 ・週1回の食事の提供だけでは、栄養バランスのとれた食事提供の効果は薄く、安否確認が主となるが、食事の確保や買い物支援等に関する課題が地域全般で深刻化している実情を踏まえると、事業の在り方について一度検討が必要。

### 4. 重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値	実績値		評価
			途中経過	最終値	
—	—	—	—	—	—
※自力での調理が困難な高齢者を対象とした食事の配達・安否確認をする事業であり、利用者の大小により業績は評価できない。					
※評価欄は、A:目標値以上、B:目標値と同等、C:目標値未満、D:進捗なし から選んで入力					

### 5. コスト

経費	1,996,335 円	うち一般財源	1,485,135 円
		うち特定財源	511,200 円

6. 効果（担当課の評価）

	評価項目	評価区分	評価	評価の理由
一次評価（担当課）	妥当性 ・住民のニーズが高いか ・受益者負担は適当か ・町が関与すべき事業か ・目的・対象は妥当か	a:効果が高い	d	年間1,278食が提供され、需要は高いが、利用料が1食あたり400円と、受益者負担が適当とは言い難い。
	将来性 ・課題解決にとどまらず将来性があるか	b:効果がやや高い C:相当程度の効果	d	食事の確保に限らず、買い物支援等、複合的な課題解決が必要。
	効率性 ・コスト削減や効率的な手法が他にないか ・費用対効果はどうか	d:効果がやや低い	d	1食あたり1,500円程度(うち町費負担1,100円) ※安否確認も含む。
	有効性 ・目的の実現に効果的か ・成果が期待できるか	e:効果がない	d	・安否確認は他の手段で代替可。 ・買い物支援等、他の地域課題に目を向けるべきではないか。
	総合評価 ・継続すべきか ・改善が必要ではないか ・廃止すべきではないか	A:このまま継続 B:改善して継続 C:廃止または中止	B	費用対効果はやや低く、改善が必要な面もあるが、安否確認を含めた調理が困難な高齢者への福祉事業としての効果は認められる。

:\*\*\*\*\*: \*\* 以下担当者入力不要 \*\* \*\*\*\*\*

7. 評価（審査会の評価）

	判定区分	意見
事業効果・評価	<input type="checkbox"/> (A)非常に効果的であった <input type="checkbox"/> (B)やや効果的であった <input checked="" type="checkbox"/> (C)相当程度効果があった <input type="checkbox"/> (D)効果がほとんどなかった <input type="checkbox"/> (E)効果がなかった	<p>週1回の弁当づくりが生きがいになっているボランティアもいるようだが、目的となっている安否確認は民生委員の活動や緊急通報システムもある。</p> <p>さらに、民間で配食サービスを提供している事業所もある中、町がコストをかけ続ける必要があるのか再考が必要。</p>
今後の方針	<input type="checkbox"/> (A)さらに発展させるべき(拡大) <input type="checkbox"/> (B)効果があるので継続 <input checked="" type="checkbox"/> (C)内容の見直しが必要(改善) <input type="checkbox"/> (D)効果が見込めないため廃止	<p>時代の変化もあることから、民間の活用等の見直し検討を。</p>

全体評価・コメント

弁当づくりが生きがいになっているボランティアには、子ども食堂に協力してもらうなど検討できないか。

8. 議会の評価・コメント

## 令和3年度事業 三種町みらい創造プラン 事業検証シート

1. 基本事項	事業番号	129	担当課名	福祉課
計画種別	〇みらい創造プラン・ 国土強靱化 ・ 行革推進計画 ・ 過疎地域持続的発展計画 男女共同参画推進計画 ・ 地域再生計画(企業版ふるさと納税)			
基本政策	誰もが健やかでいきいきと暮らせるまち	重点戦略		
主要施策	社会福祉の充実	重点施策		
施策項目	地域福祉の推進	重点項目		

### 2. 概要

名称	生きがい活動支援通所事業
Plan 目的	生きがい活動をととした生活の質の確保及び介護予防を図り、高齢者が住み慣れた地域社会の中で引き続き生活していくことを支援する。
Plan 内容	介護保険制度の要介護認定を受けていない高齢者等を対象としたデイサービス事業 (社会福祉協議会、美幸苑、希望苑へ業務委託)社協3:美幸苑1、希望苑は利用者なし

### 3. 実績

Do 取組状況	週1回のデイサービス 利用者数 月別平均 16人、58回 年間総利用回数 188人、693回
Check・Action 成果・課題等	・介護サービス事業との差別化(要支援を対象とした事業もある中で、町単独事業で継続していくことの意義)。介護保険受給前の介護予防であれば、ケアオ尔特事業の利用に移行していくべきではないか。 ・ひまわりセンター(社協委託分)の利用者が多くなっているが、施設の老朽化のため代替え施設の検討が必要。

### 4. 重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値	実績値		評価
			途中経過	最終値	
介護認定受給者 (要介護1以上)	1,245	1,200	1,251	-	-

※評価欄は、A:目標値以上、B:目標値と同等、C:目標値未満、D:進捗なし から選んで入力

### 5. コスト

経費	2,772,000 円	うち一般財源	2,079,000 円
		うち特定財源	693,000 円

6. 効果（担当課の評価）

	評価項目	評価区分	評価	評価の理由
一次評価（担当課）	妥当性 ・住民のニーズが高いか ・受益者負担は適当か ・町が関与すべき事業か ・目的・対象は妥当か	a: 効果が高い	d	介護保険制度受給前の60歳以上高齢者（約16名）に対し、年間2,079千円の町の持ち出しがあり、受益者負担が適当とは言えない。
	将来性 ・課題解決にとどまらず将来性があるか	b: 効果がやや高い C: 相当程度の効果	d	介護支援受給前の介護予防事業として、クアオルト事業もあり、そちらに移行すべき。
	効率性 ・コスト削減や効率的な手法が他にないか ・費用対効果はどうか	d: 効果がやや低い	d	年間2,079千円の持ち出しがあるが、常に利用する方は約16名となっており、費用対効果は低い。
	有効性 ・目的の実現に効果的か ・成果が期待できるか	e: 効果がない	d	「介護予防」並びに「医療費の削減」という目的でやっているとするれば、効果的とは言えない。
	総合評価 ・継続すべきか ・改善が必要ではないか ・廃止すべきではないか	A: このまま継続 B: 改善して継続 C: 廃止または中止	C	介護サービス事業やクアオルト事業がある中で、16名に対し2,079千円の町負担で実施する意義は低い。

: \* \* \* \* \* : \*\* 以下担当者入力不要 \*\* \* \* \* \* \*

7. 評価（審査会の評価）

	判定区分	意見
事業効果・評価	<input type="checkbox"/> (A)非常に効果的であった <input type="checkbox"/> (B)やや効果的であった <input checked="" type="checkbox"/> (C)相当程度効果があった <input type="checkbox"/> (D)効果がほとんどなかった <input type="checkbox"/> (E)効果がなかった	介護予防サービスが充実する前からのサービス提供だが、代替のサービスがあることから介護予防へシフトする必要があるのではないか。
今後の方針	<input type="checkbox"/> (A)さらに発展させるべき(拡大) <input type="checkbox"/> (B)効果があるので継続 <input checked="" type="checkbox"/> (C)内容の見直しが必要(改善) <input type="checkbox"/> (D)効果が見込めないため廃止	内容の見直しを検討の上、時代に合った方向へ進めてもらいたい。

全体評価・コメント

代替事業があるほか、このまま事業を継続するには施設の老朽化等の課題もあることから、時代のニーズに合った内容への検討を。

8. 議会の評価・コメント

## 令和3年度事業 三種町みらい創造プラン 事業検証シート

1. 基本事項	事業番号	131	担当課名	福祉課
計画種別	〇みらい創造プラン〇・国土強靱化・行革推進計画・〇過疎地域持続的発展計画〇 男女共同参画推進計画・地域再生計画(企業版ふるさと納税)			
基本政策	誰もが健やかでいきいきと暮らせるまち	重点戦略		
主要施策	社会福祉の充実	重点施策		
施策項目	地域福祉の推進	重点項目		

### 2. 概要

名称	高齢者世帯等除排雪支援事業
Plan 目的	高齢者世帯等が安心して生活できるよう支援し、もって在宅福祉の向上を図ることを目的とする。
Plan 内容	自力で除排雪することが困難であると認められる高齢者や身体障害者で構成される世帯がシルバー人材センターに依頼して行う除排雪にかかる費用を助成。

### 3. 実績

Do 取組状況	1冬期間において1世帯当たり最大30時間までの利用を限度としているが、令和3年度は年末から1月にかけて記録的な大雪となったことから、特例措置として利用上限を10時間延長し、40時間までの利用を限度とし助成を行った。
Check・Action 成果・課題等	706世帯、延べ18,002時間の利用に対して助成を行い、高齢者等世帯の除排雪への負担が軽減されたほか、冬期間の安全・安心な暮らしが確保された。一方、除排雪に関する町の「公助」が大きいことで、これまで地域で助け合ってきた「共助」の意識が希薄になっているという懸念もある。

### 4. 重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値	実績値		評価
			途中経過	最終値	
—	—	—	—	—	—

※評価欄は、A:目標値以上、B:目標値と同等、C:目標値未満、D:進捗なし から選んで入力

### 5. コスト

経費	22,142,460	円	うち一般財源	442,460	円
			うち特定財源	21,700,000	円

6. 効果（担当課の評価）

	評価項目	評価区分	評価	評価の理由
一次評価（担当課）	妥当性 ・住民のニーズが高いか ・受益者負担は適当か ・町が関与すべき事業か ・目的・対象は妥当か	a:効果が高い	c	高齢者や身体障害者で構成される世帯の負担を軽減し、安全・安心に生活できるよう支援する必要がある。
	将来性 ・課題解決にとどまらず将来性があるか	b:効果がやや高い C:相当程度の効果	c	少子化、核家族化の進行により、高齢者のみの世帯の増加が見込まれる。
	効率性 ・コスト削減や効率的な手法が他にないか ・費用対効果はどうか	d:効果がやや低い	c	対象世帯数の増加に伴い、財政負担の増大が懸念されるが、費用に対する効果は高いと認められる。
	有効性 ・目的の実現に効果的か ・成果が期待できるか	e:効果がない	c	高齢者世帯等の除排雪への負担が軽減されるほか、冬期間の安全・安心な暮らしの確保に寄与している。
	総合評価 ・継続すべきか ・改善が必要ではないか ・廃止すべきではないか	A:このまま継続 B:改善して継続 C:廃止または中止	A	人口減少、高齢化の進展に伴い、今後も高齢者のみの世帯の増加が見込まれるため、引き続き支援が必要である。

:\*\*\*\*\*: \*\* 以下担当者入力不要 \*\* \*\*\*\*\*

7. 評価（審査会の評価）

	判定区分	意見
事業効果・評価	<input checked="" type="checkbox"/> (A)非常に効果的であった <input type="checkbox"/> (B)やや効果的であった <input type="checkbox"/> (C)相当程度効果があった <input type="checkbox"/> (D)効果がほとんどなかった <input type="checkbox"/> (E)効果がなかった	高齢者世帯が増える中で、利用者に喜ばれている。
今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> (A)さらに発展させるべき(拡大) <input type="checkbox"/> (B)効果があるので継続 <input type="checkbox"/> (C)内容の見直しが必要(改善) <input type="checkbox"/> (D)効果が見込めないため廃止	高齢化によりさらに対象世帯が増える可能性があるため、支援の継続が必要。

全体評価・コメント

高齢世帯が増加している中で、支援は必要である。

8. 議会の評価・コメント

## 令和3年度事業 三種町みらい創造プラン 事業検証シート

1. 基本事項	事業番号	135	担当課名	福祉課
計画種別	〇みらい創造プラン・ 国土強靱化 ・ 行革推進計画 ・ 過疎地域持続的発展計画 男女共同参画推進計画 ・ 地域再生計画(企業版ふるさと納税)			
基本政策	誰もが健やかでいきいきと暮らせるまち	重点戦略		
主要施策	社会福祉の充実	重点施策		
施策項目	高齢者福祉の推進	重点項目		

### 2. 概要

名称	長寿祝金事業
Plan 目的	多年にわたり三種町の発展に貢献された高齢者を敬愛し、長寿を祝うとともに、その福祉の増進に寄与するため
Plan 内容	満100歳を迎えられた高齢者に対し、祝い金10万円を贈呈。

### 3. 実績

Do 取組状況	令和3年度 支給対象者8名
Check・Action 成果・課題等	近年は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、祝い金贈呈式等、目に見える形でのお祝い事を開催できないケースが多くなっている。

### 4. 重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値	実績値		評価
			途中経過	最終値	

※評価欄は、A:目標値以上、B:目標値と同等、C:目標値未満、D:進捗なし から選んで入力

### 5. コスト

経費	800,000 円	うち一般財源	800,000 円
		うち特定財源	0 円

6. 効果（担当課の評価）

	評価項目	評価区分	評価	評価の理由
一次評価（担当課）	妥当性 ・住民のニーズが高いか ・受益者負担は適当か ・町が関与すべき事業か ・目的・対象は妥当か	a:効果が高い	c	住民にとって満100歳の長寿祝金は浸透してきており、地域での敬老意識の高揚にも相当程度の効果が期待できる。
	将来性 ・課題解決にとどまらず将来性があるか	b:効果がやや高い C:相当程度の効果	c	〃
	効率性 ・コスト削減や効率的な手法が他にないか ・費用対効果はどうか	d:効果がやや低い	c	H30までは30万円の支給だったが、R1から10万円の支給となっており、コストは削減されていると言える。
	有効性 ・目的の実現に効果的か ・成果が期待できるか	e:効果がない	c	満100歳を祝すことで、地域での敬老意識の高揚につながり、高齢者福祉の増進に資することが期待できる。
	総合評価 ・継続すべきか ・改善が必要ではないか ・廃止すべきではないか	A:このまま継続 B:改善して継続 C:廃止または中止	A	満100歳の節目に長寿祝い金を贈呈する事業があることで、住民の敬老意識の高揚につながり、高齢者福祉の増進に寄与する。

:\*\*\*\*\*: \*\* 以下担当者入力不要 \*\* \*\*\*\*\*

7. 評価（審査会の評価）

	判定区分	意見
事業効果・評価	<input checked="" type="checkbox"/> (A)非常に効果的であった <input type="checkbox"/> (B)やや効果的であった <input type="checkbox"/> (C)相当程度効果があつた <input type="checkbox"/> (D)効果がほとんどなかった <input type="checkbox"/> (E)効果がなかった	合併前は100万円、それから30万円、そして現在の額
今後の方針	<input type="checkbox"/> (A)さらに発展させるべき(拡大) <input checked="" type="checkbox"/> (B)効果があるので継続 <input type="checkbox"/> (C)内容の見直しが必要(改善) <input type="checkbox"/> (D)効果が見込めないため廃止	人生100年時代を迎えている。

全体評価・コメント

100歳がめずらしくない時代。金額は変化してきたが、お祝いはあつた方がよいのではないかと。

8. 議会の評価・コメント

## 令和3年度事業 三種町みらい創造プラン 事業検証シート

1. 基本事項	事業番号	141	担当課名	教育委員会
計画種別	〇みらい創造プラン〇 ・ 国土強靱化 ・ 行革推進計画 ・ 過疎地域持続的発展計画 男女共同参画推進計画 ・ 〇地域再生計画(企業版ふるさと納税)〇			
基本政策	誰もが生涯にわたり学び心豊かに暮らすまち	重点戦略	みたねの子ども育成戦略	
主要施策	教育環境等の充実	重点施策	子どもの育みを支える環境づくり	
施策項目	教育環境の充実	重点項目	教育環境の充実	

### 2. 概要

名称	通学費補助事業
Plan 目的	学校から遠距離となる地区に居住している児童生徒の保護者に対し、義務教育を受けるために必要な経費を援助することにより、保護者の負担軽減を図る。
Plan 内容	遠距離通学費の補助を行う。(小学校4km、中学校6km以上)

### 3. 実績

Do 取組状況	【遠距離通学費の補助】 →40名(28世帯) 843,254円
Check・Action 成果・課題等	義務教育を受けるために必要な経費を援助することにより、保護者の負担軽減につながった。

### 4. 重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値	実績値		評価
			途中経過	最終値	
遠距離通学費補助 対象児童生徒数	40人	40人		40人	B A
			人数が決まっており、最終値とイコールになるためAに修正		

※評価欄は、A:目標値以上、B:目標値と同等、C:目標値未満、D:進捗なし から選んで入力

### 5. コスト

経費	843,254	円	うち一般財源	843,254	円
			うち特定財源		円

6. 効果（担当課の評価）

	評価項目	評価区分	評価	評価の理由
一次評価（担当課）	妥当性 ・住民のニーズが高いか ・受益者負担は適当か ・町が関与すべき事業か ・目的・対象は妥当か	a:効果が高い b:効果がやや高い c:相当程度の効果 d:効果がやや低い e:効果がない	a	保護者の負担軽減と子供たちの教育環境の充実につながった。
	将来性 ・課題解決にとどまらず将来性があるか		a	保護者の負担軽減が維持される。
	効率性 ・コスト削減や効率的な手法が他にないか ・費用対効果はどうか		c	
	有効性 ・目的の実現に効果的か ・成果が期待できるか		a	保護者の負担軽減と子供たちの教育環境の充実が期待できる。
	総合評価 ・継続すべきか ・改善が必要ではないか ・廃止すべきではないか		A:このまま継続 B:改善して継続 C:廃止または中止	A

:\*\*\*\*\*: \*\* 以下担当者入力不要 \*\* \*\*\*\*\*

7. 評価（審査会の評価）

	判定区分	意見
事業効果・評価	<input checked="" type="checkbox"/> (A)非常に効果的であった <input type="checkbox"/> (B)やや効果的であった <input type="checkbox"/> (C)相当程度効果があった <input type="checkbox"/> (D)効果がほとんどなかった <input type="checkbox"/> (E)効果がなかった	<p>学校が統合になって、スクールバスが運行されてもスポ少や部活で親の送迎もあるため、スクールバスの場合でも救済があった方がよいのでは。</p>
今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> (A)さらに発展させるべき(拡大) <input type="checkbox"/> (B)効果があるので継続 <input type="checkbox"/> (C)内容の見直しが必要(改善) <input type="checkbox"/> (D)効果が見込めないため廃止	<p>児童生徒数が減少する中で拡大してよいかとの考えもあるが、来る統合によって状況が変わるので、調査等の事前準備をして、状況に合わせた検討をお願いしたい。</p>

全体評価・コメント

児童生徒数が減少する中で、KPIの設定等難しいところはあるが、状況に合わせた対応をお願いしたい。

8. 議会の評価・コメント

## 令和3年度事業 三種町みらい創造プラン 事業検証シート

1. 基本事項	事業番号	146	担当課名	教育委員会
計画種別	〇みらい創造プラン〇 ・ 国土強靱化 ・ 行革推進計画 ・ 過疎地域持続的発展計画 男女共同参画推進計画 ・ 地域再生計画(企業版ふるさと納税)			
基本政策	誰もが生涯にわたり学び心豊かに暮らすまち	重点戦略	みたねの子ども育成戦略	
主要施策	芸術文化活動の推進と郷土芸能の継承	重点施策	子どもの育みを支える環境づくり	
施策項目	文化財の保護・活用	重点項目	教育環境の充実	

### 2. 概要

名称	英語検定料補助事業
Plan 目的	英語検定を受検する中学校生徒の保護者負担を軽減するため。
Plan 内容	英語検定に要する費用を支援する。

### 3. 実績

Do 取組状況	年2回実施 琴丘中学校 176,140円(受検者数50名 合格40名 不合格8名 欠席2名) 山本中学校 260,540円(受検者数66名 合格38名 不合格17名 欠席11名) 八竜中学校 766,950円(受検者数204名 合格102名 不合格98名 欠席4名)
Check・Action 成果・課題等	補助金の交付を希望する全ての生徒の保護者に交付している。

### 4. 重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値	実績値		評価
			途中経過	最終値	
—	—	—	—	—	—

※評価欄は、A:目標値以上、B:目標値と同等、C:目標値未満、D:進捗なし から選んで入力

### 5. コスト

経費	1,203,630	円	うち一般財源	1,203,630	円
			うち特定財源		円

6. 効果（担当課の評価）

	評価項目	評価区分	評価	評価の理由
一次評価（担当課）	妥当性 ・住民のニーズが高いか ・受益者負担は適当か ・町が関与すべき事業か ・目的・対象は妥当か	a:効果が高い b:効果がやや高い c:相当程度の効果 d:効果がやや低い e:効果がない	a	保護者の負担が軽減され、生徒の教育環境の充実につながる。
	将来性 ・課題解決にとどまらず将来性があるか		a	英語教育の充実につながる。
	効率性 ・コスト削減や効率的な手法が他にないか ・費用対効果はどうか		c	
	有効性 ・目的の実現に効果的か ・成果が期待できるか		a	保護者の経済的負担軽減となるため効果的である。
	総合評価 ・継続すべきか ・改善が必要ではないか ・廃止すべきではないか		A:このまま継続 B:改善して継続 C:廃止または中止	A

:\*\*\*\*\*: \*\* 以下担当者入力不要 \*\* \*\*\*\*\*

7. 評価（審査会の評価）

	判定区分	意見
事業効果・評価	<input checked="" type="checkbox"/> (A)非常に効果的であった <input type="checkbox"/> (B)やや効果的であった <input type="checkbox"/> (C)相当程度効果があった <input type="checkbox"/> (D)効果がほとんどなかった <input type="checkbox"/> (E)効果がなかった	学校で受験を進めてくれるので、高校受験に向けてありがたい事業。
今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> (A)さらに発展させるべき(拡大) <input type="checkbox"/> (B)効果があるので継続 <input type="checkbox"/> (C)内容の見直しが必要(改善) <input type="checkbox"/> (D)効果が見込めないため廃止	ぜひ継続してほしい。

全体評価・コメント

子どもたちへの支援を継続してほしい。

8. 議会の評価・コメント

# 令和3年度事業 三種町みらい創造プラン 事業検証シート

1. 基本事項	事業番号	149	担当課名	教育委員会
計画種別	〇みらい創造プラン・国土強靱化・行革推進計画・〇過疎地域持続的発展計画 男女共同参画推進計画・〇地域再生計画(企業版ふるさと納税)			
基本政策	誰もが生涯にわたり学び心豊かに暮らすまち	重点戦略	みたねの子ども育成戦略	
主要施策	教育環境等の充実	重点施策	子どもの育みを支える環境づくり	
施策項目	教育環境の充実	重点項目	教育環境の充実	

## 2. 概要

名称	給食費助成事業
Plan 目的	出生率の向上、保護者が安心して子どもを産み育てることができる環境づくりの促進、保護者の経済的な負担の軽減を図る。
Plan 内容	町内の小学校・中学校に在籍する児童生徒の保護者を対象とする。

## 3. 実績

Do 取組状況	第1子及び第2子は半額を減額し、第3子以降は全額免除とする。
Check・Action 成果・課題等	保護者の経済的な負担を軽減し、安心して子どもを産み育てる環境づくりの促進が図られている。

## 4. 重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値	実績値		評価
			途中経過	最終値	

※評価欄は、A:目標値以上、B:目標値と同等、C:目標値未満、D:進捗なし から選んで入力

## 5. コスト

経費	32,345,910	円	うち一般財源	32,345,910	円
			うち特定財源		円

6. 効果（担当課の評価）

	評価項目	評価区分	評価	評価の理由
一次評価（担当課）	妥当性 ・住民のニーズが高いか ・受益者負担は適当か ・町が関与すべき事業か ・目的・対象は妥当か	a: 効果が高い	a	保護者の経済的な負担軽減には効果が高いと考える。
	将来性 ・課題解決にとどまらず将来性があるか	b: 効果がやや高い c: 相当程度の効果	a	安心して子どもを産み育てる環境づくりとしては効果が高いと考える。
	効率性 ・コスト削減や効率的な手法が他にないか ・費用対効果はどうか	d: 効果がやや低い e: 効果がない	a	現状では現在の手法が効率的であり効果が高いと考える。
	有効性 ・目的の実現に効果的か ・成果が期待できるか		a	出生率の向上、安心して子どもを産み育てる環境づくりとしては効果が高いと考える。
	総合評価 ・継続すべきか ・改善が必要ではないか ・廃止すべきではないか	A: このまま継続 B: 改善して継続 C: 廃止または中止	A	保護者の経済的負担を軽減し、安心して子どもを産み育てる環境づくり、しいては出生率の向上に繋げる施策としてはこのまま継続と考える。

: \* \* \* \* \* : \* \* 以下担当者入力不要 \* \* \* \* \*

7. 評価（審査会の評価）

	判定区分	意見
事業効果・評価	<input checked="" type="checkbox"/> (A)非常に効果的であった <input type="checkbox"/> (B)やや効果的であった <input type="checkbox"/> (C)相当程度効果があった <input type="checkbox"/> (D)効果がほとんどなかった <input type="checkbox"/> (E)効果がなかった	<p>給食は栄養価が高く、他市町村にはないので、ありがたい事業。 給食費が他の市町村と比較しても低く抑えられており、さらに給食費助成後には滞納がなくなった効果は大きい。</p>
今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> (A)さらに発展させるべき(拡大) <input type="checkbox"/> (B)効果があるので継続 <input type="checkbox"/> (C)内容の見直しが必要(改善) <input type="checkbox"/> (D)効果が見込めないため廃止	<p>未納があるのであれば、第一子、第二子のさらなる減免もと思うが、未納がなくなったのであれば事業の効果が得られていると考えられる。</p>

全体評価・コメント

保護者の経済的負担軽減の効果は大きいですが、目的にある出生率の向上は、違うのではないかと。

8. 議会の評価・コメント

## 令和3年度事業 三種町みらい創造プラン 事業検証シート

1. 基本事項	事業番号	158	担当課名	教育委員会
計画種別	未来創造プラン ・ 国土強靱化 ・ 行革推進計画 ・ 過疎地域持続的発展計画 男女共同参画推進計画 ・ 地域再生計画(企業版ふるさと納税)			
基本政策	誰もが生涯にわたり学び心豊かに暮らすまち	重点戦略	みたねの子ども育成戦略	
主要施策	教育環境等の充実	重点施策	子どもの育みを支える環境づくり	
施策項目	教育環境の充実	重点項目	学生支援体制の充実	

### 2. 概要

名称	奨学金貸与
Plan 目的	町の未来を担う学生たちへの就学支援と人材育成を目的として、町内に住む者の子どもである学生(高校・大学等)に対し、奨学資金を貸与する。
Plan 内容	広報等で募集を行い、応募のあった学生を選考委員会で選考し、決定した奨学生に対し、学生生活に必要な奨学資金を貸与する。

### 3. 実績

Do 取組状況	【奨学資金の貸与】 →奨学生:13名(うち新規採用者4名) 貸与額:計7,900,000円(償還額:7,660,000円)
Check・Action 成果・課題等	未来ある学生が安心して学生生活を送るために必要な学費を貸与することにより、教育環境の充実につながった。

### 4. 重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値	実績値		評価
			途中経過	最終値	
奨学金新規採用者数	4名	4名		4名	B

※評価欄は、A:目標値以上、B:目標値と同等、C:目標値未満、D:進捗なし から選んで入力

### 5. コスト

経費	円	うち一般財源	円
		うち特定財源	円

6. 効果（担当課の評価）

	評価項目	評価区分	評価	評価の理由
一次評価（担当課）	妥当性 ・住民のニーズが高いか ・受益者負担は適当か ・町が関与すべき事業か ・目的・対象は妥当か	a:効果が高い b:効果がやや高い c:相当程度の効果 d:効果がやや低い e:効果がない	a	学生の教育環境の充実につながった。
	将来性 ・課題解決にとどまらず将来性があるか		a	未来ある学生が安心して学生生活を送ることで、学生の将来の活躍へとつながる。
	効率性 ・コスト削減や効率的な手法が他にないか ・費用対効果はどうか			
	有効性 ・目的の実現に効果的か ・成果が期待できるか		a	学生たちの教育環境の充実が期待される。
	総合評価 ・継続すべきか ・改善が必要ではないか ・廃止すべきではないか		A:このまま継続 B:改善して継続 C:廃止または中止	A

:\*\*\*\*\*: \*\* 以下担当者入力不要 \*\* \*\*\*\*\*

7. 評価（審査会の評価）

	判定区分	意見
事業効果・評価	<input checked="" type="checkbox"/> (A)非常に効果的であった <input type="checkbox"/> (B)やや効果的であった <input type="checkbox"/> (C)相当程度効果があった <input type="checkbox"/> (D)効果がほとんどなかった <input type="checkbox"/> (E)効果がなかった	奨学金貸与は、未来ある若者に対してどこの自治体でも実施されているため、三種町独自のものではないが、ありがたい制度である。
今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> (A)さらに発展させるべき(拡大) <input type="checkbox"/> (B)効果があるので継続 <input type="checkbox"/> (C)内容の見直しが必要(改善) <input type="checkbox"/> (D)効果が見込めないため廃止	子どもも利用者も減っている中で、より多くの必要な人に活用してもらうため、周知の方法を工夫した方がよい。

全体評価・コメント

給付型になると若者に借金を背負わすことにならないので、その検討もあればよいのでは。

8. 議会の評価・コメント

# 令和3年度事業 三種町みらい創造プラン 事業検証シート

1. 基本事項	事業番号	172	担当課名	教育委員会
計画種別	みらい創造プラン・国土強靱化 行革推進計画・過疎地域持続的発展計画 男女共同参画推進計画・地域再生計画(企業版ふるさと納税)			
基本政策	誰もが生涯にわたり学び心豊かに暮らすまち	重点戦略		
主要施策	芸術文化活動の推進と郷土芸能の継承	重点施策		
施策項目	文化財の保護・活用	重点項目		

## 2. 概要

名称	文化財保護事業、農村歌舞伎会館外壁改修工事
Plan 目的	指定文化財を保護し次代に継承する。森岳歌舞伎の活動拠点である歌舞伎会館の外壁を改修し、活動を支援する。
Plan 内容	国指定、県指定、町指定文化財の保存活用、町民への周知(大山家、萱刈沢貝塚、志戸橋番楽、森岳歌舞伎等)

## 3. 実績

Do 取組状況	各種補助金を活用して文化財の保存活用に努めた。歌舞伎会館の外壁改修工事を実施した。八竜中学校生徒の校外学習へ協力。(大山家、萱刈沢貝塚見学)
Check・Action 成果・課題等	文化財を保護し活用する機会を提供できた。

## 4. 重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値	実績値		評価
			途中経過	最終値	
指定文化財の保存	65	65	65	65	B
郷土芸能継承数	8	8	8	8	B

※評価欄は、A:目標値以上、B:目標値と同等、C:目標値未満、D:進捗なし から選んで入力

## 5. コスト

経費	5,807,305 円	うち一般財源	5,807,305 円
		うち特定財源	円

6. 効果（担当課の評価）

	評価項目	評価区分	評価	評価の理由
一次評価（担当課）	妥当性 ・住民のニーズが高いか ・受益者負担は適切か ・町が関与すべき事業か ・目的・対象は妥当か	a:効果が高い b:効果がやや高い c:相当程度の効果 d:効果がやや低い e:効果がない	a	指定文化財の保護活用が図られた。
	将来性 ・課題解決にとどまらず将来性があるか		a	次代に継承することが出来た。
	効率性 ・コスト削減や効率的な手法が他にないか ・費用対効果はどうか		a	補助金の活用等効率的にできた。
	有効性 ・目的の実現に効果的か ・成果が期待できるか		a	指定文化財の保護活用が図られた。
	総合評価 ・継続すべきか ・改善が必要ではないか ・廃止すべきではないか		A:このまま継続 B:改善して継続 C:廃止または中止	A

:\*\*\*\*\*: \*\* 以下担当者入力不要 \*\* \*\*\*\*\*

7. 評価（審査会の評価）

	判定区分	意見
事業効果・評価	<input checked="" type="checkbox"/> (A)非常に効果的であった <input type="checkbox"/> (B)やや効果的であった <input type="checkbox"/> (C)相当程度効果があった <input type="checkbox"/> (D)効果がほとんどなかった <input type="checkbox"/> (E)効果がなかった	伝統芸能の継承は極めて大事、建物も含め伝えられる人や物は地域の財産として継続してもらいたい。
今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> (A)さらに発展させるべき(拡大) <input type="checkbox"/> (B)効果があるので継続 <input type="checkbox"/> (C)内容の見直しが必要(改善) <input type="checkbox"/> (D)効果が見込めないため廃止	貴重な資源なので、物資両面で支援を継続してほしい。

全体評価・コメント

文化財や伝統芸能は地域の財産として、物資両面から保存してほしい。

8. 議会の評価・コメント

## 令和3年度事業 三種町みらい創造プラン 事業検証シート

1. 基本事項	事業番号	174	担当課名	企画政策課
計画種別	みらい創造プラン・国土強靱化・行革推進計画・過疎地域持続的発展計画 男女共同参画推進計画・地域再生計画(企業版ふるさと納税)			
基本政策	地域で支え合う安全安心なまち	重点戦略	住民と連携した地域づくり戦略	
主要施策	地域コミュニティの活性化支援	重点施策	地域コミュニティの活性化支援	
施策項目	自治会活動の活性化支援	重点項目	自治会活動の活性化支援	

### 2. 概要

名称	集会所等施設整備費補助事業
Plan 目的	自治会が集会所等の新築、改築、増築、修繕及び備品の購入を行うにあたり、補助金を交付し、地域住民の福祉の増進とふれあい豊かな地域社会の育成を図ることを目的とする。
Plan 内容	新築・全部改築 上限700万円(補助率1/2) 増築・部分改築及び修繕 上限400万円(補助率1/2)、世帯負担上限2万円 備品購入 上限75万円(1/2、机、椅子、テレビ、冷蔵庫、冷暖房器具に限る)

### 3. 実績

Do 取組状況	前年11月要望調査し当初予算へ計上 4月以降(申請書受付、交付決定、事業実施、実績報告、補助金交付)随時受け付け
Check・Action 成果・課題等	令和3年度 修繕10件、備品購入3件 修繕は屋根塗装・外壁修繕、備品購入はエアコン、ストーブが主な内容 多くの集会所が建築から年数が経過しているため、今後、大規模修繕の要望が増える可能性がある。

### 4. 重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値	実績値		評価
			途中経過	最終値	

※評価欄は、A:目標値以上、B:目標値と同等、C:目標値未満、D:進捗なし から選んで入力

### 5. コスト

経費	2,777,579	円	うち一般財源	2,777,579	円
			うち特定財源		円

6. 効果（担当課の評価）

	評価項目	評価区分	評価	評価の理由
一次評価（担当課）	妥当性 ・住民のニーズが高いか ・受益者負担は適当か ・町が関与すべき事業か ・目的・対象は妥当か	a:効果が高い	a	自治会規模に関わらず活用が可能であるため、利用する自治会が多い
	将来性 ・課題解決にとどまらず将来性があるか	b:効果がやや高い C:相当程度の効果	b	持続的に集会施設等を利用するために効果がある。
	効率性 ・コスト削減や効率的な手法が他にないか ・費用対効果はどうか	d:効果がやや低い	b	地元負担があることから、自主的な施設管理が行われる。
	有効性 ・目的の実現に効果的か ・成果が期待できるか	e:効果がない	a	自主的な施設管理が促される。
	総合評価 ・継続すべきか ・改善が必要ではないか ・廃止すべきではないか	A:このまま継続 B:改善して継続 C:廃止または中止	B	増築、部分的改築及び修繕について、自治会規模に応じた補助率等の見直しが必要

:\*\*\*\*\*: \*\* 以下担当者入力不要 \*\* \*\*\*\*\*

7. 評価（審査会の評価）

	判定区分	意見
事業効果・評価	<input type="checkbox"/> (A)非常に効果的であった <input type="checkbox"/> (B)やや効果的であった <input checked="" type="checkbox"/> (C)相当程度効果があった <input type="checkbox"/> (D)効果がほとんどなかった <input type="checkbox"/> (E)効果がなかった	集会所の改修には効果があった。
今後の方針	<input type="checkbox"/> (A)さらに発展させるべき(拡大) <input type="checkbox"/> (B)効果があるので継続 <input checked="" type="checkbox"/> (C)内容の見直しが必要(改善) <input type="checkbox"/> (D)効果が見込めないため廃止	補助金額に対して稼働率が見合っているのか。自治会の規模に大小があるが合併はしないのか。

全体評価・コメント

集会所の稼働率や自治会の規模を考えるとコスト過多に思える。しかし、集会所の必要性も理解できるため継続を。

8. 議会の評価・コメント

## 令和3年度事業 三種町みらい創造プラン 事業検証シート

1. 基本事項	事業番号	181	担当課名	町民生活課
計画種別	みらい創造プラン・国土強靱化・行革推進計画・過疎地域持続的発展計画 男女共同参画推進計画・地域再生計画(企業版ふるさと納税)			
基本政策	地域で支え合う安全安心なまち	重点戦略		
主要施策	災害・危機に強いまちづくり	重点施策		
施策項目	消防・防災活動等の促進	重点項目		

### 2. 概要

名称	地域防災計画見直し業務
Plan 目的	国の防災基本計画及び秋田県地域防災計画との整合性などを図るため見直しを実施する
Plan 内容	国の基本計画や県計画の改定、秋田県津波浸水想定調査、全国に多発する大規模災害の教訓等を反映させる見直しをする

### 3. 実績

Do 取組状況	国の防災基本計画及び秋田県地域防災計画を踏まえ、過去の大規模災害の教訓などを反映した計画を策定
Check・Action 成果・課題等	修正された三種町地域防災計画及び災害時職員初動マニュアルの整備、防災計画概要版を作成し全戸配布する

### 4. 重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値	実績値		評価
			途中経過	最終値	
地域防災計画の見直し	修正する	修正する		修正済	B

※評価欄は、A:目標値以上、B:目標値と同等、C:目標値未満、D:進捗なし から選んで入力

### 5. コスト

経費	4,620,000 円	うち一般財源	4,620,000 円
		うち特定財源	円

6. 効果（担当課の評価）

	評価項目	評価区分	評価	評価の理由
一次評価（担当課）	妥当性 ・住民のニーズが高いか ・受益者負担は適当か ・町が関与すべき事業か ・目的・対象は妥当か	a:効果が高い	a	国・県計画の更新により、町の防災・減災のための軸となる計画の更新
	将来性 ・課題解決にとどまらず将来性があるか	b:効果がやや高い C:相当程度の効果	b	計画を更新し、災害時や平常時の備えなどの確認することができた
	効率性 ・コスト削減や効率的な手法が他にないか ・費用対効果はどうか	d:効果がやや低い	c	防災関係の他計画との整合性を図る必要がある
	有効性 ・目的の実現に効果的か ・成果が期待できるか	e:効果がない	a	計画を更新することにより、今後の災害時体制や防災事業への指針となる
	総合評価 ・継続すべきか ・改善が必要ではないか ・廃止すべきではないか	A:このまま継続 B:改善して継続 C:廃止または中止	A	計画更新を引続き行う必要がある

:\*\*\*\*\*: \*\* 以下担当者入力不要 \*\* \*\*\*\*\*

7. 評価（審査会の評価）

	判定区分	意見
事業効果・評価	<input type="checkbox"/> (A)非常に効果的であった <input type="checkbox"/> (B)やや効果的であった <input type="checkbox"/> (C)相当程度効果があった <input checked="" type="checkbox"/> (D)効果がほとんどなかった <input type="checkbox"/> (E)効果がなかった	8月の大雨災害の件もあり、十分であるとはいえない。
今後の方針	<input type="checkbox"/> (A)さらに発展させるべき(拡大) <input type="checkbox"/> (B)効果があるので継続 <input checked="" type="checkbox"/> (C)内容の見直しが必要(改善) <input type="checkbox"/> (D)効果が見込めないため廃止	津波や地震、大雨等で同時多発的に被害が起きた場合に整合性がとれた計画書が必要。 また、実用の部分で今以上に危機感を持って臨まなければならない。

全体評価・コメント

8月の大雨被害では十分な対策ができたとはいえないため、計画書の見直しの他、実用の部分でさらなる対策が必要。

8. 議会の評価・コメント

## 令和3年度事業 三種町みらい創造プラン 事業検証シート

1. 基本事項	事業番号	189	担当課名	町民生活課
計画種別	未来創造プラン ・ 国土強靱化 ・ 行革推進計画 ・ 過疎地域持続的発展計画 男女共同参画推進計画 ・ 地域再生計画(企業版ふるさと納税)			
基本政策	地域で支え合う安全安心なまち	重点戦略		
主要施策	生活環境の整備充実	重点施策		
施策項目	空き家対策の推進	重点項目		

### 2. 概要

名称	空き家対策事業
Plan 目的	自然災害などによる空き家の倒壊を防ぐため、危険な空き家の解体工事に対し補助金交付する
Plan 内容	空き家実態調査票により、危険度が「2」以上であることなどの条件により、補助金交付する

### 3. 実績

Do 取組状況	対象の空き家を実態調査し、補助金申請を受理し交付する
Check・Action 成果・課題等	H26 8件2,391,235円、H27 8件2,582,390円、H28 4件1,005,000円、 H29 4件1,400,000円、H30 4件1,200,000円、R1 14件3,911,000円、 R2 12件3,479,000円、R3 20件10,051,000円

### 4. 重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値	実績値		評価
			途中経過	最終値	
5年間の危険な 空き家の解体数	42件(H26～R1)	100件	R3 20件		C
※評価欄は、A:目標値以上、B:目標値と同等、C:目標値未満、D:進捗なし から選んで入力					

### 5. コスト

経費	9,551,000	円	うち一般財源	51,000	円
			うち特定財源	9,500,000	円

6. 効果（担当課の評価）

	評価項目	評価区分	評価	評価の理由
一次評価（担当課）	妥当性 ・住民のニーズが高いか ・受益者負担は適当か ・町が関与すべき事業か ・目的・対象は妥当か	a:効果が高い	c	所有者(管理者)が空き家管理の不安軽減、空き家周辺の住民不安の解消になっている
	将来性 ・課題解決にとどまらず将来性があるか	b:効果がやや高い C:相当程度の効果	b	空き家解体による周辺住民の不安解消となっている
	効率性 ・コスト削減や効率的な手法が他にないか ・費用対効果はどうか	d:効果がやや低い	c	特に、空き家調査のコスト増となっている
	有効性 ・目的の実現に効果的か ・成果が期待できるか	e:効果がない	b	空き家解体による周辺住民の不安解消と空地の利用方法に課題
	総合評価 ・継続すべきか ・改善が必要ではないか ・廃止すべきではないか	A:このまま継続 B:改善して継続 C:廃止または中止	A	空き家の倒壊や飛散物の解消により、住民が安心して暮らすことができる

:\*\*\*\*\*: \*\* 以下担当者入力不要 \*\* \*\*\*\*\*

7. 評価（審査会の評価）

	判定区分	意見
事業効果・評価	<input type="checkbox"/> (A)非常に効果的であった <input type="checkbox"/> (B)やや効果的であった <input checked="" type="checkbox"/> (C)相当程度効果があった <input type="checkbox"/> (D)効果がほとんどなかった <input type="checkbox"/> (E)効果がなかった	全国的に必要な事業であり、効果はあったと思う。
今後の方針	<input type="checkbox"/> (A)さらに発展させるべき(拡大) <input type="checkbox"/> (B)効果があるので継続 <input checked="" type="checkbox"/> (C)内容の見直しが必要(改善) <input type="checkbox"/> (D)効果が見込めないため廃止	空き家バンクと連携できないか。解体後の更地を利活用できないか。

全体評価・コメント

空家問題は三種町に限らず全国的な問題のため継続が必要。倒壊等の危険性の少ない空家や解体後の土地について町の収益になるような取り組みも必要である。

8. 議会の評価・コメント

## 令和3年度事業 三種町みらい創造プラン 事業検証シート

1. 基本事項	事業番号	234	担当課名	総務課
計画種別	みらい創造プラン・国土強靱化・ <u>行革推進計画</u> ・過疎地域持続的発展計画 男女共同参画推進計画・地域再生計画(企業版ふるさと納税)			
基本政策	安定した行財政運営のまち	重点戦略		
主要施策	健全で計画的な財政運営	重点施策		
施策項目	歳出の抑制と歳入の確保	重点項目		

### 2. 概要

名称	未利用財産の有効活用
Plan 目的	将来的に利用見込みの無い遊休資産については、令和3年度より民間譲渡等を積極的に実施する。
Plan 内容	公有財産の有効活用及び財源確保のため、遊休町有地等を一般競争入札等により積極的に売却を図っていく。

### 3. 実績

Do 取組状況	令和3年度で浜田字福沢地内の町有地(A=817.15㎡)の売却に取り組んだが、隣地境界線が公図と合わないため、測量調査に不足の期間を要し、年度内の公売実施を断念した。
Check・Action 成果・課題等	町有地を売却する場合、隣地との境界を明確にしないと後々購入者とトラブルとなる可能性をはらんでおり、事前の測量業務が必須である。特に官地どうしの道路や水路との境界線が曖昧な場合が多く、公売前に必ず境界復元測量を実施したうえで公売を実施するため期間を要する。

### 4. 重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値	実績値		評価
			途中経過	最終値	
—					

※評価欄は、A:目標値以上、B:目標値と同等、C:目標値未満、D:進捗なし から選んで入力

### 5. コスト

経費	円	うち一般財源	円
		うち特定財源	円

6. 効果（担当課の評価）

	評価項目	評価区分	評価	評価の理由
一次評価（担当課）	妥当性 ・住民のニーズが高いか ・受益者負担は適当か ・町が関与すべき事業か ・目的・対象は妥当か	a:効果が高い	b	将来的に利用見込みの無い遊休資産については、必要とする人(団体)に譲渡することで、有益に利用される。
	将来性 ・課題解決にとどまらず将来性があるか	b:効果がやや高い C:相当程度の効果	c	遊休資産の譲渡により、維持管理費用の削減につながる。
	効率性 ・コスト削減や効率的な手法が他にないか ・費用対効果はどうか	d:効果がやや低い	c	遊休資産を売却することで町の収入となるものの、境界復元測量等に多額の経費がかかる場合もある。
	有効性 ・目的の実現に効果的か ・成果が期待できるか	e:効果がない	c	遊休資産の譲渡により、維持管理費用の削減につながる。
	総合評価 ・継続すべきか ・改善が必要ではないか ・廃止すべきではないか	A:このまま継続 B:改善して継続 C:廃止または中止	A	遊休資産を売却することで町の収入となり、かつ、維持管理費用の削減につながる。

:\*\*\*\*\*: \*\* 以下担当者入力不要 \*\* \*\*\*\*\*

7. 評価（審査会の評価）

	判定区分	意見
事業効果・評価	<input type="checkbox"/> (A)非常に効果的であった <input type="checkbox"/> (B)やや効果的であった <input type="checkbox"/> (C)相当程度効果があった <input type="checkbox"/> (D)効果がほとんどなかった <input checked="" type="checkbox"/> (E)効果がなかった	実績がないため評価できない。
今後の方針	<input type="checkbox"/> (A)さらに発展させるべき(拡大) <input checked="" type="checkbox"/> (B)効果があるので継続 <input type="checkbox"/> (C)内容の見直しが必要(改善) <input type="checkbox"/> (D)効果が見込めないため廃止	国道沿いなどの土地の需要はあり、町の収入にもつながるため、事業自体は有用なので継続していきたい。

全体評価・コメント

実績はないが需要はあると考えられるので継続していきたい。

8. 議会の評価・コメント

## 令和3年度事業 三種町みらい創造プラン 事業検証シート

1. 基本事項	事業番号	240	担当課名	税務課
計画種別	みらい創造プラン ・ 国土強靱化 ・ 行革推進計画 ・ 過疎地域持続的発展計画 男女共同参画推進計画 ・ 地域再生計画(企業版ふるさと納税)			
基本政策	安定した行財政運営のまち		重点戦略	
主要施策	健全で計画的な財政運営		重点施策	
施策項目	歳出の抑制と歳入の確保		重点項目	

### 2. 概要

名称	納税貯蓄組合補助金
Plan 目的	各納税組合の自主活動の育成支援及び納税意識の高揚を図ること。
Plan 内容	各納税組の人数及び収納実績に応じ事務費を補助する。

### 3. 実績

Do 取組状況	R3交付実績 142組織 6,879,500円 活動内容を確認し、適正な補助金交付を行う。
Check・Action 成果・課題等	コロナ禍のため組合員の会合等はあまりできなかったようだ。 組合員の高齢化により、組織数が毎年減っている。

### 4. 重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値	実績値		評価
			途中経過	最終値	
納税組合数	155	140	154		C
交付件数	146	130		142	C
交付金額	7,310,800	6,000,000		6,879,500	C

※評価欄は、A:目標値以上、B:目標値と同等、C:目標値未満、D:進捗なし から選んで入力

### 5. コスト

経費	6,879,500	円	うち一般財源	6,879,500	円
			うち特定財源		円

6. 効果（担当課の評価）

	評価項目	評価区分	評価	評価の理由
一次評価（担当課）	妥当性 ・住民のニーズが高いか ・受益者負担は適当か ・町が関与すべき事業か ・目的・対象は妥当か	a:効果が高い	b	多様化する町民ニーズに応じていくためには、納税意識の向上が不可欠である。
	将来性 ・課題解決にとどまらず将来性があるか	b:効果がやや高い C:相当程度の効果	b	今年度も10納組の解散があった。口座振替の普及や生活様式の変化により将来性は考えるところである。
	効率性 ・コスト削減や効率的な手法が他にないか ・費用対効果はどうか	d:効果がやや低い	b	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、2年続けて事業を未実施が多かった。
	有効性 ・目的の実現に効果的か ・成果が期待できるか	e:効果がない	b	事務費の補助金ではあるが、従来の奨励金とはき違えている納組もみられる。
	総合評価 ・継続すべきか ・改善が必要ではないか ・廃止すべきではないか	A:このまま継続 B:改善して継続 C:廃止または中止	B	継続しているものの組合員の高齢化により維持困難な組合もみられる。繰越金が多くなり相談を受けるケースも増えてきているので改善して継続が必要。

:\*\*\*\*\*: \*\* 以下担当者入力不要 \*\* \*\*\*\*\*

7. 評価（審査会の評価）

	判定区分	意見
事業効果・評価	<input type="checkbox"/> (A)非常に効果的であった <input type="checkbox"/> (B)やや効果的であった <input type="checkbox"/> (C)相当程度効果があった <input checked="" type="checkbox"/> (D)効果がほとんどなかった <input type="checkbox"/> (E)効果がなかった	納税貯蓄組合の必要性に疑問が残る。 口座振替やQRコード決済を推進するべきでは。 有名無実化している組織も少なくない。
今後の方針	<input type="checkbox"/> (A)さらに発展させるべき(拡大) <input type="checkbox"/> (B)効果があるので継続 <input checked="" type="checkbox"/> (C)内容の見直しが必要(改善) <input type="checkbox"/> (D)効果が見込めないため廃止	納税意識が高い組合もあるので、補助格差を設けるなど改善が必要。 DX化など時代的にも事業の見直しが必要になってきている。廃止の選択肢も視野に効果的な事業にすべき。

全体評価・コメント

納付率アップを目的に続けてきた事業。現在は地域によって温度差があるが、口座振替やコンビニ払い等の普及により、若い世代は納税組合へは無関心である。今後は事業内容の見直しや廃止等の検討もあってよい。

8. 議会の評価・コメント